

平成30年度の各団体の取組一覧

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の取組内容
A02	上越市商工会連絡協議会	10	A-1-1	特産品開発及び販路開拓による地域産業の活性化と雇用の維持・拡大	<p>○特産品開発及び販路開拓により地域産業の活性化と雇用の維持・拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どぶろくを活用した特産品開発と販路開拓事業(牧商工会) ・地域の食材を活用したスイーツの開発と販路開拓事業(大潟商工会) ・地域の食材を活用した土産品開発と販路開拓事業(三和商工会) ・区内特産品の販路開拓事業(名立商工会) 	<p>○特産品開発と販路拡大事業(牧商工会)</p> <p>“どぶろくスイーツ”や地元産“コシヒカリ新米”といった地域資源を活用した特産品の販路拡大を通じて地域産業の活性化を図る。インターネットショッピングモール「上越特産市場」での販売や東京の表参道新潟館ネスパス、大阪梅田のじよんのび新潟等においてイベントを開催し販路拡大を推進。</p> <p>また、どぶろくスイーツについては、メイドイン上越の認証を引き続き更新し、地域ブランドの確立を図る。</p>
A02	上越市商工会連絡協議会	20	A-2-1	観光客増加による地域産業の活性化と雇用の維持・拡大	<p>○観光客増加により地域産業の活性化と雇用の維持・拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食による情報発信事業「上越どんぶり巡り」(上越南地区5商工会) ・上越市道の駅連携事業(名立、安塚、吉川商工会) ・鉄道資源を活用した地域活性化事業(中郷商工会) 	<p>○鉄道資源を活用した地域活性化事業(中郷商工会)</p> <p>二本木駅のスイッチバックに着目した駅周辺の観光開発を推進。継続して駅周辺の“賑わい”創出を目的に、年2回のイベント開催や年10回のスイッチバック市に取り組む。また、ウォーキングツアーの企画やSNSを活用し観光誘客を推進する。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A02	上越市商工会連絡協議会	30	C-1-2	地元購買促進による地域商業活性化	<p>○地元購買促進により地域商業の活性化と雇用の維持・拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域商業活性化事業 100円商店街(柿崎商工会、大潟商工会) 得するまちのゼミナール「まちゼミ」(吉川商工会) スタンプラリー(浦川原商工会ほか) 	<p>○「100円商店街」(柿崎商工会、大潟商工会)</p> <p>参加店限定の100円商品を通じた販売促進イベント「100円商店街」を実施し、地域消費喚起を行う。(回数は、柿崎商工会は2回、大潟商工会は3回の予定)</p> <p>○「軽トラ市」(柿崎商工会)</p> <p>農商工連携の一環として、地域産品等を軽トラで直接販売。消費者・生産者・商工業者の交流の場として活用し、地域活性化を目的として実施。</p> <p>○得するまちのゼミナール「まちゼミ」(吉川商工会)</p> <p>参加店で店主がプロの専門知識やコツを無料で教える講座を企画。地域事業所への来店者拡大を図り地域消費拡大を図る。10月に実施。</p> <p>○買い物スタンプラリー(大島商工会、浦川原商工会ほか)</p> <p>複数店で買い物をした消費者に抽選で賞品をプレゼントする「スタンプラリー」を実施し、地域消費喚起を図る。</p> <p>○きよさと朝市(清里商工会)</p> <p>区内事業者や地元農業者による朝市販売を実施し、地域消費の拡大に取り組む。</p> <p>○プレミアム商品券販売事業(名立商工会ほか)</p> <p>区内事業所で利用できるプレミアム付き商品券を発行することにより、地域消費拡大を図る。</p> <p>○産業祭開催による販路開拓事業(三和商工会)</p> <p>“さんわ桜の陣”と称し、地域産品の販売イベントを実施し地域消費の拡大に取り組む。</p> <p>○産業祭開催による販路開拓事業(吉川商工会)</p> <p>“吉川テラス”と称し、地域産品と地元の食材を使用した飲食物(B級グルメ)の販売イベントを実施し、地域消費の拡大に取り組む。</p>
A03	えちご上越農業協同組合	40	A-1-4	総合機能を発揮した多様な担い手の育成・支援と地域農業の活性化	<p>○総合機能を発揮した多様な担い手の育成・支援と地域農業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業ビジョンの策定 ・青年部活動を通じた次世代農業後継者の育成 	<p>○農地中間管理事業等を活用した担い手経営体への農地集積(管内農地に占める認定農業者経営面積率79.5%)</p> <p>○水稻の早生多収性新品種「つきあかり」の生産拡大(671ha)</p> <p>○需要に応じた米生産の推進のための業務用米への取組の強化</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A03	えちご上越農業協同組合	50	A-1-1	複合営農による園芸振興と地域条件に応じた特産品等の生産基盤の強化	○複合営農による園芸振興と地域条件に応じた特産品等の生産基盤の強化 ・上越野菜販路開拓と作付誘導 ・あるん畑を核とする地産地消複合直営施設の設定	○直売所を核とした、雪下、雪室野菜のブランド化による冬期間の園芸生産の確立(簡易雪室の導入促進)
A03	えちご上越農業協同組合	60	A-1-1 B-2-2 B-2-3 B-2-4	食と農のあり方を次世代につなげる親子教室や学校等への出前講座の開催	○食と農のあり方を次世代につなげる親子教室や学校等への出前講座の開催 ・子供対象の「ちやぐりん道場」、若い世代対象の「よい食カレッジ」、学校等の「広がれ弁当の日」支援 ・JA女性大学「さくらカレッジ」による食・農・暮らしを軸とした活動の展開	○ちやぐりん道場(小学生親子対象の食育活動) 2会場×4回実施 食と農について学んだ ○広がれ弁当の日活動支援 小中学校への出前講座にて紹介。旬の野菜を使った弁当レシピを作成配布。 5校10講座配布 ○さくらカレッジ(女性大学) 1年1期で募集。自分・仲間・地域づくりを目的に実施。 H30.7～H31.6まで10回実施。 ○小学校への出前講座 食・農に関する出前講座実施(米粉、豆腐づくり等)
A03	えちご上越農業協同組合	70	B-2-1	親しみとふれあいのある暮らしの創出と地域活性化への貢献	○親しみとふれあいのある暮らしの創出と地域活性化への貢献 ・男性講座の開催、女性部組織の活性化 ・こころときめき活動(結婚支援活動)による出合いの場の提供	○男性講座 管内4地域で料理講習を中心に実施。延べ184名参加 ○女性部組織の活性化 女性部各支部、地区等の活動支援とフレミズ全体活動(社でのフリマ) ○こころときめき活動(婚活イベント等) 年7回実施。マッチング延べ12組 あるんの杜六花の里にて地場野菜を使用した料理でイベント実施 地産地消の料理婚も実施
A03	えちご上越農業協同組合	80	C-1-2 C-2-2	支店を核とした協同活動による地域コミュニティの活性化	○支店を核とした協同活動による地域コミュニティの活性化 ・各支店で支店協同活動を実施し、地域貢献活動にも積極的に取り組む	全支店での支店協同活動の実施による地域貢献

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A03	えちご上越農業協同組合	新規	—	上越の食・農の情報発信拠点の整備と、地域の観光拠点施設との連携による地域の魅力発信	—	○「上越あるるん村」内への地域の観光情報の掲示と、各観光施設における上越あるるん村の情報紙等の設置依頼 ○「上越あるるん村」と地域の観光施設との連携による観光マップ等の作成
A04	上越公共職業安定所	90	A-3-2	新規学校卒業予定者等に対する就職支援	(1)新規学校卒業予定者等に対する就職支援 ①高等学校卒業予定者に対する就職支援 ・高等学校と連携した個別就職相談の早期実施 ・応募前企業説明会(高校生就職準備ガイダンス)の実施 ・未内定生徒を対象とした企業説明会の開催 ②大学等卒業予定者に対する就職支援 ・大学等就職WEB提供サービスの活用 ・郷土就職ゼミナールの開催	○高等学校卒業予定者に対する就職支援 ・高等学校と連携し、5月より就職希望者と学卒ジョブサポーターによる個別相談を実施。 ・上越市との共催により7月に管内企業と就職希望者による応募前企業説明会を開催。 ○大学等卒業予定者に対する就職支援 ・登録学生等に対し大学等就職WEB提供サービスの活用を周知。 ・上越商工会議所と連携し、3月に平成32年3月卒及び既卒3年以内の者を対象に大卒等合同企業説明会(郷土就職希望者ゼミナール)を開催。
A04	上越公共職業安定所	100	A-3-2	フリーター等の正規雇用化に向けた就職支援	(2)フリーター等の正規雇用化に向けた就職支援 ・上越わかもの支援窓口による担当者制による就職支援の実施 ・各種助成金を活用し、フリーター等の正規雇用化の促進 ・若者しごと館上越サテライト、上越地域若者サポートステーションと連携による就職促進	○「わかもの支援窓口」で担当者制による就職支援を年間を通じて実施。必要に応じて若者しごと館上越サテライト、上越地域若者サポートステーションと連携した支援を実施。 ○非正規雇用労働者の正社員転換等に向けた取組について、経済団体及び企業へ要請を実施。
A04	上越公共職業安定所	110	A-3-2	U・Iターン希望者に対する就職支援	(3)U・Iターン希望者に対する就職支援 ・「にいがたUターン情報センター」と連携した就職支援の実施	○U・Iターン希望者へ、にいがたUターン情報センターと連携した就職支援を実施。 また、ハローワークの待合室内にUターン情報コーナーを設置し、にいがたUターン情報センターの周知等を実施。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A04	上越公共職業安定所	120	A-3-3 B-1-1 B-2-2 B-2-3 B-2-4	子育て女性等に対する再就職支援の推進	再就職支援の推進 ・子育て女性等に「マザーズコーナー」を周知し利用の促進に努める。 ・各種子育て支援サービス等に関する情報提供 ・求職者ニーズを踏まえた担当者制による就職支援の実施 ・子育て女性等を対象としたセミナーの開催 ・新潟県、上越市等の関係者による協議会を開催し、総合的な支援の実施	○関係機関による「子育て等就職支援協議会」を開催し、マザーズコーナーの周知等を実施。 また、再就職希望者に対しマザーズ再就職支援セミナーを10月に実施。
A04	上越公共職業安定所	130	A-3-3	障害者の雇用対策の推進	障害者の雇用対策の推進 (1)障害者の再就職の促進 (2)雇用・福祉・教育・医療等の連携による一般雇用への移行の促進 (3)障害者の職業能力開発支援の推進	○障害者の就職促進を図るため、10月、2月に就職面接会を開催。 ○上越テクノスクールと連携した障害者対象ハロートレーニング(公共職業訓練)の推進。
A05	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 北陸研究拠点	140	A-1-1 A-1-4	新品種・新技術による地域農業の競争力強化	○事業内容 ・作物の新品種育成と生産技術の開発ならびに育成品種・開発技術の農業者等への技術移転 ○事業目標 ・新品種・新技術を開発し農業者に技術移転することでその技術力を向上し、地域農業や食品産業等の発展と競争力強化に貢献する。 ○実施内容 ・地域農業に適した新品種の育成と生産技術の開発を行う。育成した品種、開発した技術をマッチングフォーラム、研修会、技術指導、技術相談等を通じて農業者等へ迅速に技術移転する。 ○実施体制 ・新品種・新技術開発は国立研究開発法人として定める中期計画に基づき実施。技術の評価や技術移転については農業者・農業団体、行政機関等と協力・連携する。	○北陸農業に適した水稲、大麦、大豆品種の開発を継続していく。 ○早生で多収、極良食味水稲品種「つきあかり」について、上越市やJAえちご上越等との連携を深めながら普及拡大を進めた。また、中生および晩生で業務用米に適した「にじのきらめき」「あきあかね」についても普及を進めた。 ○水稲の低コスト生産技術、大豆や飼料米の生産技術等々、水田農業に関わる新技術について、技術指導・相談等の活動を積極的に継続した。 ○「北陸地域マッチングフォーラム」等の農業イベントを開催し、現場ニーズを踏まえながら、北陸地域農業の活性化や競争力強化に繋がる活動を展開する。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A05	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 中央農業研究セン ター 北陸研究拠点	150	A-1-1	農業と科学技術に対 する市民理解の向上	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と科学技術についての市民、児童・生徒への啓発活動 <p>○事業目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と科学技術について、市民、児童・生徒への広報活動を行い、市民の理解を深めるとともに将来の人材育成の基礎とする。 <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究所一般公開、研究所見学、食と農の科学教室、有線放送話題 提供等により広報・啓発活動を行う。 <p>○実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動については行政機関と協力・連携する。 	<p>○青少年、農業関係者、消費者等の一般市民に対する、農業技術に関する情報提供活動の一環として、「食と農の科学教室」(小学校5年生対象、32校、1092名が参加)、「北陸研究拠点・一般公開」(参観者数594名)を実施した。</p> <p>○県立高田農業高校(1学年)、農業者、農業関係者等を中心とした学習・見学対応にも、積極的に取り組んだ。</p> <p>○「食育フォーラムin上越2018」において、JAえちご上越の出展「お米の食べ比べ」を支援し、米の品種や食味に関する情報提供に努めた。</p>
A06	新潟県上越地域振 興局	新規		ライフデザインセミ ナー開催事業	-	<p>○独身者の結婚・子育てに関する経済面での不安を解消し、家庭を持つことに対して積極的な気持ちを芽生えさせるため、独身者を対象としたセミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフデザインセミナーの開催(2月24日)

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A07	上越教育大学	200	C-2-1	地域連携・大学間連携事業	<p>○地域連携推進室における事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙「平成27年度地域連携推進室に係る地域連携・大学間連携等の主な事業・活動構成」にあるとおり、「基幹的な地域連携推進事業」、「公募型地域貢献事業」、「出前講座」、「公開講座」、「大学等との連携推進事業」、「産学官に関する連携事業」など、本学の教育研究で培った様々な資源を有効に活用した各種事業を、本学地域連携推進室の下で、教職員、学生、本学各組織が、地域の自治体や産業界、また、大学等との連携を得て実施している。 ・直接、「しごとづくり」又は「まちの活性化」と結びつかない事業もあるが、何らかのかたちで貢献できているのではないか。 ・ほかにも、教員個々、各センターやコース・科目群などの組織が、それぞれの専門性や資源を活かし、地域の各種団体・機関からの要請などに基づき連携した活動(共同研究など)をしていると考えられる。(活動状況は把握していない。) 	他の個別事業のとおり実施する。
A07	上越教育大学	1050	A-3-1 A-3-2 B-2-4	基幹的な地域連携推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 戦略的な地域教育連携事業 2 上越地域教育委員会との連携推進事業 3 上越市学校教育支援事業 4 教師の専門職化をフォローする研修体制の構築事業 5 総合的な教師力向上のための調査研究事業 	<p>○戦略的な地域教育連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市を始めとした地域の学校教員等に対して、学校教育課題に対応した「教職員のための自主セミナー」を100回(2月12日時点)実施した。 ・上越市を始めとした地域の学校に対して、学校評価支援アンケートシステムによる学校評価活動への支援を行った。 ・上越地域の学校教育文化(統廃合された各学校の教育資料)の収集及び整理を行った。 <p>○上越市学校教育支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市校長会、上越市教育委員会及び上越地域学校教育支援センターと連携し、各学校との連携・支援に資するため、「上越市立小学校・中学校への大学教員等の学校訪問事業」及び「上越市学校教育支援協議会」を開催した。(11月) <p>○教員研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現職教員等を対象とした「教員研修講座」を実施した。(新潟、長野県内)(6~9月)

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A07	上越教育大学	1060	C-2-1 C-2-2	公募型地域貢献事業	—	<p>○子育て支援、地域活性化事業等の各分野で下記事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越地域難聴幼児支援事業として、「上越市難聴児サポートシステム会議」を実施した。 ・上越地域の小中学校教員等と対象とした「書写指導実技講習会」を実施した。 ・上越地域のエネルギー環境教育の推進や地域ネットワークづくりのため、「環境フェア2018」へ出展した。 ・山屋敷町内において、住民の健康保持・増進と地域コミュニティの強化促進等を支援するため、「山屋敷スポーツクラブの運営支援」を実施した。 ・ほくほく線沿線の駅を中心とした芸術文化活動による地域活性化事業を実施した。 ・児童・生徒が積極的にプログラミングやものづくりに取り組めるワークショップと、それに支える地域住民の人材育成を目的として「子どもたちの楽しいプログラミング及びものづくり啓発事業」を実施した。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A07	上越教育大学	1070	B-2-2 B-2-3	各種講座・講習等	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座 ○公開講座 <ul style="list-style-type: none"> 1 一般公開講座及び現地教員公開講座 2 免許法認定公開講座 3 新潟県立看護大学との連携公開講座 ○文化講演会 ○各種講習 <ul style="list-style-type: none"> 1 学校図書館司書教諭講習 2 特別支援学校教員専門性向上事業免許法認定講習 	<ul style="list-style-type: none"> ○出前講座 <ul style="list-style-type: none"> ・12分野78テーマの講座を開講し、166回(2月12日時点)実施した。 ○公開講座 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生から一般市民・現職教員を対象とした一般公開講座を15講座実施し、93名が受講した。 ○各種講習 <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民を対象とした、新潟県立看護大学との「連携公開講座」を実施した。(7月) ・学校図書館の専門的職務に携わる司書教諭を養成するため、「学校図書館司書教諭講習」を実施した。(7月) ・小学校の教員を対象に、中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得するために必要な単位を修得させることを目的に、「小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習」を実施した。(8~12月) ・特別支援学校並びに小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の教員を対象に、教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得させることを目的に、「特別支援学校教員の資質向上のための講習」を実施した。(9~11月)
A07	上越教育大学	1080	A-2-2	大学等との連携推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 新潟県立看護大学との連携推進事業 2 新潟大学との連携推進事業 3 信州大学との連携推進事業 4 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家との連携推進事業 5 富山大学、富山国際大学との連携推進事業 6 高等教育コンソーシアムにいがたによる事業 7 上越市、妙高市、糸魚川市(糸魚川ジオパーク協議会)との連携医協力事業 8 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○新潟大学との連携推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学と連携し、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー(CST))養成拠点を形成し、CSTを養成した。 ○信州大学との連携推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・信州大学と連携し、小中学生を対象とした剣道大会及び実技指導を行った。(8月) ○高等教育コンソーシアムにいがたにおける連携 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県立看護大学とともに平成31年度「にいがた市民大学」へ提供する講座プログラム案を作成・提出した。(1月) ○上越市、妙高市、糸魚川市(糸魚川ジオパーク協議会)連携協力事業 <ul style="list-style-type: none"> ・上越市立中学生職場体験の事業所として生徒を受け入れた。(8月)

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A07	上越教育大学	1100	A-2-1	各種事業	1 春日山城跡等の整備・活用事業 2 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議による事業 3 上越市「三城物語」検定 4 新潟県ICT研究会事業	○春日山城跡等の整備事業 ・学生及び教職員へ参加を呼びかけ、延べ35名が清掃や草刈りなど春日山城跡の整備事業に参加した。(4～9月) ○外国人留学生の雪国宿泊体験(スキー等を含む)による上越市の国際化推進事業 ・外国人留学生を通し、冬の上越市の魅力を情報発信することで、上越市の国際化を推進し、地域の活性化に資することを目的に、「外国人留学生の雪国宿泊体験(スキー等を含む)による上越市の国際化推進事業」を実施し、留学生及び教職員23名が参画した。
A08	新潟県立看護大学	210	B-2-2 B-2-3 C-2-1	出前講座	○看護研究交流センターにおける事業展開 ・地域の教育機関、市民団体及び企業等の求めに応じて、本学教員が出向いて講義等を行う出前講座を実施している(平成26年度～)。 ・平成27年度は用意した18テーマのうち、「子どもには生きる力がある」「いざという時に役立つホームケア」「自分のからだ・健康・いのちについて考えてみよう」が子育て支援に関連する内容である。小児看護学の教員2名が講師である。 ・看護研究交流センターのホームページから申し込む。依頼者側から旅費を負担していただく。	○幼稚園・保育所・学校からは、「子供の危険、事故対応」「自分の身体・命について」の依頼があった。幼稚園・保育所は保護者学習会に、中学校は生徒の保健体育の授業の一環として活用された。 ○「理解しやすい」「日常生活に活かせる」「正しい知識を学んだ」「新しい情報がある」という意見をいただいた。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A09	上越信用金庫	220	A-1-3 C-2-2	上越創業支援ネットワーク事業	<ul style="list-style-type: none"> ・上越信用金庫が、上越市、上越商工会議所、(株)日本政策金融公庫の3機関と連携し、「創業支援ネットワーク」を設置。 ・本ネットワークに行政や経済団体、金融機関などの情報、ノウハウと集約しながら、創業希望者が創業しやすい環境を整備し、創業を促進することで、地域経済の活性化に結びつける。 ・創業前の創業相談、資金相談、創業セミナー、創業塾の開催。 ・創業後の創業フォローアップの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月19日 上越市創業支援ネットワーク会議 加盟9機関参加 ・平成30年6月28日 第1回創業イブニングセミナー開催 ・平成30年7月2日 日本政策金融公庫との協調融資商品『応援』の取扱いを開始 ・平成30年7月19日 上越市主催eコマースセミナー参加 ・平成30年9月10日 上越創業者くらぶ 第1回例会参加 ・平成30年9月13日 上越市主催eコマースセミナー後援、参加 ・平成30年9月20日 上越市創業支援ネットワーク会議 加盟8機関参加 ・平成30年11月10日 上越商工会議所主催「創業塾」講師派遣 ・平成30年11月12日 上越創業者くらぶ 第3回例会参加 ・平成30年11月13日 上越市主催eコマースセミナー後援、参加 ・平成30年11月27日 第2回創業イブニングセミナー開催 ・平成31年2月4日 上越創業者くらぶ 第4回例会参加 ・平成31年2月19日 上越市創業支援ネットワーク会議

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A09	上越信用金庫	230	A-1-3 C-2-2	上越地域連携プラットフォーム事業	<p>・上越信用金庫が代表機関となり、上越商工会議所、新井商工会議所、糸魚川商工会議所、新井信用金庫、糸魚川信用金庫の5機関と連携し、登録支援機関「上越地域プラットフォーム」を設置。</p> <p>・主に、ITシステム(支援ポータルサイト:通称ミラサポ)を活用し、専門家派遣事業、合同セミナー、ビジネスマッチング、連絡協議会、合同研修会等の地域機関連携を行い、地域の中小企業・小規模事業者へのビジネス創造や経営改善・革新等のサポートを行うことで、地域経済の活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月16日 第1回連携連絡会議 加盟6機関+上越市参加 ・平成30年7月13日 上越市主催、事業承継セミナー参加、支援 ・平成30年11月14日 上越商工会議所主催 「ビジネスマッチング個別商談会in上越」支援 ・平成30年11月19日 上越市共同主催 事業承継セミナー(事業者向け)開催 ・平成31年3月 第2回連携連絡会議(予定)
A09	上越信用金庫	240	A-1-3	信州大学繊維学部との産学金連携	<p>長野県信州大学繊維学部との業務連携により、取引先企業の技術開発や製品開発等について大学への橋渡し役を担い、取引先企業の課題解決の支援を行いながら、地域経済の活性化を図る。</p>	<p>・通年を通じた連携体制の継続 連携事業の内容</p> <p>(1)産学官連携に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ①技術相談 ②共同研究 ③受託研究 ④研究者の紹介(専門知識の提供) ⑤大学の設置機器の利活用、分析、試験の依頼 ⑥産産連携(企業間ビジネスマッチング) <p>(2)地域産業振興に関すること</p> <p>(3)教育・研究に関すること</p> <p>(4)その他(両者が必要と認める事業)</p> <p>・現在の継続案件 11件(対前年比▲1件) 累計 21件(対前年比3件増) 平成30年4月1日から平成31年2月末までの新規相談件数 3件(対前年比▲1件) ※新商品開発事業 2件、ビジネスマッチング 1件</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A09	上越信用金庫	250	B-2-2 B-2-3 C-2-2	各種ローン・積金等の円滑な提供	<p>若い世代の経済的安定、結婚、出産・子育てへの支援、仕事と生活の調和を図るため、金融機関の本業を意識した課題解決支援を実施。</p> <p>◆各種ローン(カードローン、カーローン、教育ローン、ブライダルローン、住宅ローン)の提供。 経済負担を考慮した金利優遇もあり。 ※地域に就職する若年層、地元出身の新社会人、Uターン、Iターンの新社会人への支援等、あらゆる場面での円滑な資金提供を支援。</p> <p>◆ファミリーサポート積金の提供 余暇・レジャー、健康・医療、生活サービス(保育・介護)等のさまざまな生活シーンで利用できる「ライフサポートサービス」や24時間電話健康サービス、セカンドオピニオン、糖尿病臨床医紹介サービス、あたまの健康チェックテスト等が無料で利用できる「健康関連サービス」が付加されている積金。</p>	<p>・通年を通じた取組み あらゆる場面での各種ローン(カードローン、マイカーローン、教育ローン、ブライダルローン、住宅ローン)等の円滑な提供。</p> <p>・農業専用融資 地域農業支援資金「豊作」の取扱開始。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A09	上越信用金庫	260	C-1-2 C-2-2	ふるさと絆プロジェクト事業	<p>当金庫は経営理念に掲げているとおり、地域社会の繁栄を願い、人々の夢の実現と中小企業の発展に貢献していくことが、地域金融機関としての社会的使命であると考えております。</p> <p>これら「信用金庫の原点」でもあります取組みを一層強化していくため、「ふるさと絆プロジェクト」を立ち上げ、2つの柱を基に継続的な活動を行っています。</p> <p>一つは、『課題解決型金融への取組み』です。活力ある地域経済の活性化と中小企業への各種サポート、事業性評価に基づいた融資、コンサルティング機能の発揮により一層の金融仲介機能を強化し、地域密着型金融を通じて地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。</p> <p>もう一つは、『地域貢献活動』です。金融機能の提供にとどまらず様々な地域貢献活動の実施により、地域における存在感を一層高め、地域に暮らす皆様との密接な関係を継続してまいります。</p> <p>上越信用金庫は、常に「地域」を大切に活動を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月18日 第1回ふるさと絆プロジェクト作業部会開催 ・平成30年8月22日 第2回ふるさと絆プロジェクト作業部会開催 ・平成31年2月1日 第3回ふるさと絆プロジェクト作業部会開催 ・課題解決型金融への取組み 「休日相談会」の実施(毎月4回・日曜日) ・地域貢献事業 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年 6月 平成30年度第1回景気動向調査の実施、公表 平成30年 9月 平成30年度第2回景気動向調査の実施、公表 平成30年12月 平成30年度第3回景気動向調査の実施、公表 平成31年 3月 平成30年度第4回景気動向調査の実施、公表 ・小学生図画・版画展開催 <ul style="list-style-type: none"> 図画展覧会:平成30年11月10日から11日 49校 462作品展示 版画展覧会:平成31年2月23日から24日 50校 496作品展示 ・平成30年4月から平成31年1月 各種地域行事への参加 役職員参加事業 58事業 総勢 714名の参加 ・平成30年7月27日 金融リテラシー教育事業 高田商業高等学校1年生の会社見学受入金庫内の見学金融、ビジネスマナー講座の開催

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A10	連合新潟上越地域協議会	270	A-3-2	働くことを軸とする安心社会の構築事業	<p>「働くことを軸とする安心社会」は、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型の社会である。</p> <p>知識や学歴によってその夢を果たすことができない若者。非正規労働で働き、将来の展望が見いだせない労働者。職場の理解も得られずに就労をあきらめている母親。親の介護で支援を受けられず就労をあきらめざるを得ない労働者。トラブルで職を失ったり、心身の障がいから就職先が見つからない失業者。年をとってこれまでのようなかたちでは働くことが困難になった人々は、もっと柔軟なかたちで働ける就労環境を望んでいるのに彼らの力を活かせる職場が少ない。社会参加したいのにそのような機会が限られている。</p> <p>そのための具体的な活動として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の問題点を掘り起こすため労働相談ダイヤルを常設し、個々、団体の問題解決を行う。また、メンタル 2. 最低賃金、ワークルール等の啓発のため、街頭行動等を行っている。 3. 基礎的なワークルールを知らないまま社会へ出て、トラブルによる離職を防ぐため、学校等へ出向き出前講座を行うとともに、チラシ等の配布を行っている。 4. 関係自治体へ労働問題に対する要請を行っている。 	<p>【ライフサポート事業】</p> <p>○難関通じての労働、生活、よろず何でも相談窓口の開設</p>
			B-1-1 B-2-1			<p>【オータムパーティー】</p> <p>○市内飲食店を貸切 35歳以下の男女での婚活パーティーの実施</p>
			A-3-3			<p>○上越市中山間地域支え隊へのボランティア派遣 ○市内5施設へ年2回の清掃ボランティア派遣 ○海岸清掃の実施</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A11	上越市町内会長連絡協議会	280	C-1-2 C-2-1 C-2-2	地域コミュニティの窓口と人材育成事業	<p>当協議会は市政執行の円滑な運営に協力するとともに、関係機関等に対して所要の連絡を密にし、市の発展に寄与することを目的に市内816の町内会で組織している。</p> <p>〈町内会長まちづくりの集い〉 地域コミュニティの核である町内会を代表する町内会長(816人)や町内会役員等を対象に、市長による市政に関する講話やまちづくりの専門家による講演会を実施し、まちづくりに関する情報を提供することで地域の活性化や課題解決に取り組む。(6月下旬開催)</p> <p>〈先進地視察研修〉 歴史的街並みを活かしたまちづくりや防災のまちづくりに取り組む市外の先進地等の視察を行い、各地域の活動に活かす。(10月下旬～11月上旬実施)</p>	<p>○「町内会長まちづくりの集い」の開催</p> <p>○視察研修の実施(10月実施)</p>
A12	上越市小中学校PTA連絡協議会	290	B-1-1 B-2-3 B-2-4	小中学校PTA連絡協議会研究大会	<p>期 日:平成27年11月23日(月・祝)</p> <p>会 場:上越文化会館大ホール</p> <p>参 加 者:市内小中学校PTA会員 1,500人</p> <p>開催目的:子どもたちの抱えている課題を把握し、今後のPTA活動の方向性を参加者全員で模索する。</p> <p>内 容:著名な講師による講演会を実施する予定です。講演内容は今年度、市P連が取り組んでいるアウト・メディアの推進に関する内容をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの利便性と危険性を踏まえた正しい使い方の一層の周知 ・携帯・スマホに係る問題 <p>学年を追うごとに携帯依存が顕著になり生活習慣が乱れること。ライン等による友人間のトラブルが発生していること。</p>	<p>第66回日本PTA全国研究大会新潟大会</p> <p>日時 平成30年8月24日(金)</p> <p>開場 上越文化会館</p> <p>参加者 全国PTA</p> <p>内容 日本PTA全国研究大会新潟大会 分科会 県内10会場 上越市は第1分科会 全大会 長岡市</p> <p>講演会、実践発表、パネルディスカッション</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
A12	上越市小中学校PTA連絡協議会	300	B-2-3	ブロック別 交流親善大会	市内を10ブロックに分け、各ブロックでPTA会員相互の交流と親睦を深めるために実施している。 内 容: 各ブロックにより実施種目は異なるが、野球大会、バレーボール大会を実施しているブロックが多い。その他の種目としてはソフトバレー、ボーリング、綱引きなど。各ブロックが趣向を凝らして実施している。その後、懇親会(情報交換会)を実施し、更なる親睦を図っているブロックもある。	○日 時:平成29年6月から11月 ○会 場:各学校グラウンド、体育館など ○参加者:市P連会員 ○内 容:10ブロック別による親善大会 野球、バレーボール、ソフトバレーボール、ボーリングなどで交流を図る予定。
B01	金谷北地区農村元気会	310	A-1-4	集落活性化に向けた地域の将来ビジョンの作成	1 地域の将来ビジョンの作成 (1) 大学教授を招聘し、多角的な視点からのアドバイスを受けるワークショップを開催する。 (2) 地域住民の意識改革を促すため、将来ビジョンを作成する。	○正善寺・滝寺出荷組合の自立 ・特産品の開発 ・朝市の充実 ○滝寺ファームの自立 ・衛星画像を活用した米の食味改善・収穫増 ・独立採算性の向上 ○春日山古道散策会の自立 ・春日山古道の維持・保全 ・春日山古道散策会の企画力向上と独立会計 ・他団体との連携

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B01	金谷北地区農村元気会	320	A-1-1 A-1-4	コメや野菜の特産化と販売方法の拡大	2 コメや野菜の特産化と販売方法の拡大 (1) 地域特産物の発掘と集荷方法の検討と実施 (2) 購買者のためのサービス体制の構築(朝市・トラック市、正善寺工房等の直売所の活用)	正善寺・滝寺出荷組合 ○次年度は「滝寺開発センター北側駐車場」を活用し、『直売所』を開設したい。地域の住民や朝市の品物を購入にきた人たちが交流する場となるような、開かれた空間を作りたい。→ 多額のお金がかかるため昨年は実施せず。今後考えたい。 ○イノシシの肉もうまく活用したい。→ 朝市の始まりと終わりにお客にふるまった。好評であった。 ○山菜の作付やミョウガの復活を行い、中山間地であることの利点を利用して、休耕田や休耕畑の活用を図りたい。→ 山菜の作付とミョウガの復活は今後も続ける。休耕田は6反分修復した。 滝寺ファーム ○次年度は「平場の大規模農家」も加えて衛星画像の活用の方途を探る予定。中山間地だけでなく、平場の大規模農家もそれぞれ衛星画像を活用することを目指したい。→ 12月10日に市民プラザでRESTEC小田川さんが衛星画像の利用について報告会を行った。中山間地の衛星画像利用が中心であった。
B01	金谷北地区農村元気会	330	A-1-1 C-1-2 C-3-1	集落活性化に向けたイベントの実施と地域PR・バス利用促進	3 イベントの実施と地域PR・バス利用促進 (1) 地域資源(歴史や文化)を活用したイベントの実施 ・イベント実施体制の確立と近隣へのPR ・地域住民のイベントへの参加と意識改革 ・正善寺線バス利用を促進し、地域発展の足がかりとする (2) 地域資源の再発見のための講師招聘による講演会を行う	○正善寺線バス利用促進を目的としたイベントを行い、会費収入を考慮して、会の運営資金を稼ぎ出す。 ○御朱印を作成し、観光客のリピーターを増やすような仕掛けを作る。→ 御朱印作成の準備が完了し、次年度は実際に作成する段階になった。 ○亀割清水を復活させ、清水の活用やリピーターの増加を図る。→ 地域協議会で資金を出してくれなかったため断念した。
B01	金谷北地区農村元気会	340	C-1-2	野生鳥獣被害対策	4 野生鳥獣被害対策 (1) イノシシ被害対策の実施:電気柵の設置と捕獲、見回り (2) 捕獲したイノシシを活用した地域住民の親睦・交流の促進検討	○春日山古道散策会を行い、人と野生鳥獣との棲み分けを目指す。 ○イノシシ肉の活用の他、なめし皮・歯などの活用を工夫する。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B02	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	350	A-1-1 A-1-4	上越市中山間地域元気な農業づくり推進事業	<p>中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。また、地域マネジメント組織を核とした中山間地域の農業と農村を持続的に担う体制の確立を図る。</p> <p>○農産物等庭先集荷サービス事業、多様な主体との連携活動支援事業、ふるさと玉手箱事業による支援(市補助事業)</p> <p>○推進協議会、現地研修会等の開催</p> <p>○国の「農村集落活性化支援事業」の活用と取組支援</p> <p>・2つのマネジメント組織を含む市内4地区が平成27年度から5か年計画で農村の維持活性化を図る取組を実施する。 (事業実施者: 楡池農業振興会、板倉区中山間地域農業振興会、川谷もより協議会、金谷北地区農村元気会)</p>	<p>○中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。また、地域マネジメント組織を核とした中山間地域の農業と農村を持続的に担う体制の確立を図る。</p> <p>○市単補助事業として、「農産物等庭先集荷サービス事業」「ふるさと玉手箱事業」「中山間農地活用促進モデル事業」を実施するほか、平成30年度から廃止されるとも補償の対策と、中山間地域等直接支払交付金第5期対策(平成32年度からの5年間)に向けて、取組農地の確保、農業生産活動の推進を図るため、平成30年度新規市単補助事業として、保全管理農地への作付けを振興する「中山間地域農業生産振興事業」を創設する。</p> <p>○推進協議会、現地研修会等を開催する。</p> <p>○国の「農村集落活性化支援事業」の活用と取組支援</p> <p>・平成27年度に市内4地区が採択され、5か年計画で農村の維持活性化を図る取組を実施している。平成28年度からは新たに1地区が採択されたことから、市内では5地区で取組を実施している。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B03	上越発酵食品研究会	360	A-1-1 A-1-3 A-1-4 A-2-1 A-3-2	発酵食品の研究開発と「発酵のまち上越」のPR	<p>農水・商・工連携により、発酵食品による地域ブランド創りを通じて、「発酵のまち上越」を確立する。</p> <p>【実施体制】 別紙のとおり</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の支援メニュー等を活用し、既存の発酵食品の磨き上げや発酵を活用した新商品開発を促進 ・上越の伝統食品として、食育やイベント参加による啓発活動 ・研究会の活動に関する情報の発信 ・上越の発酵食品の販路拡大 <p>今後はより多くの市民から「発酵のまち上越」をPRしてもらえる体制をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市や各種支援機関の個別相談会を活用し、新たな発酵食品の開発や商品のレベルアップを促す。 ・上越食育フォーラムにて上越の伝統発酵食品「味噌」のPRや、越後謙信SAKEまつりにて雪むろ酒かすラーメンやサカキン弁当によるPRを実施する。 ・研究会のホームページやフェイスブック等を通じて発酵のまち上越をPRする。 ・優れた発酵食品が市のメイド・イン上越に認証されるよう事業者へ促す。 ・上越市教育委員会が実施する「謙信KIDSプロジェクト」と連携し、次世代へ発酵文化を継承する取り組みを実施する。
B04	NPO法人 食の工房ネットワーク	365	A-1-1 A-1-3 A-3-3	食のネットワーク事業	<p>○地場産農作物を使用した加工品の製造や販売活動等により、生産者と消費者、地域と地域との交流を促進し、地産地消を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地場産野菜等を素材とした農産加工品の開発研究 2. 農産物や農産加工品の販売促進 3. 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○29年度事業は一部除き継続 ○雪が育てた自然の恵みシリーズの県外販売 越後正善寺ブランド ○農村に伝わる食の伝承事例集の聞き取り ○地域で採れる旬の野菜レシピの情報発信はウェブサイトクックパッド、JCVを通じて行いました。
B05	雪だるま財団	370	A-1-1 A-1-2	雪エネルギーを活用した商品研究・開発	<p>○雪エネルギーを活用した商品研究・開発((仮称)雪むろ食品推進プロジェクト)</p> <p>雪をキーワードに上越地域における新たな雪むろ食品のブランド化を目指した「(仮称)雪むろ食品推進プロジェクト」を立ち上げ、雪むろ食品を開発し販売する。開発した商品を広く紹介し、あわせて地元飲食店ででの活用促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○雪を活用した食品の貯蔵アドバイス、技術支援を随時行った。 ・雪室商品(雪室を活用し雪中貯蔵を行う食品)の開発支援 ・雪中貯蔵に取組む事業者を増やし、雪室商品を増やしていくため、可能性のある食材について試験や情報収集を行った。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B05	雪だるま財団	380	A-2-1 A-2-2	農山漁村・自然を活用した体験交流の受入	○農山漁村・自然を活用した体験交流の受入(越後田舎体験推進協議会) 観光自然を農山漁村・自然・人と捉え、「体験交流」を観光の目玉としてほんものの体験・暮らしを提供できる地域として売り込む。	○上越市と十日町市で、学校団体中心に受入を行っている。 ○営業活動、情報発信の強化 ・営業活動(関東、関西方面) ・情報発信研修会の開催 ○農泊を推進するための各種研修会等を実施した。 ○各地区へ出向き、地域の素材、人材、魅力などの調査や意見交換を行なった。調査結果や意見をまとめ、新しい体験プログラムの検討、既存のプログラムのレベルアップ、課題解決などにつなげていく。
B07	株式会社大光銀行	401	A-1-3	しごとづくり応援事業	1.目的:上越の新事業創出、地場産業の活性化を支援 2.取組内容: ①創業支援体制の構築 ②クラウドファンディングを活用した地域産品のPR ③医療・介護・福祉分野、農業・六次産業化分野、環境・エネルギー分野、事業承継・M&A分野への支援 ④ビジネスマッチング、商談会等による販路開拓支援 ⑤各種セミナー開催による情報提供 3.連携体制:上越市、金融機関、商工会議所、その他関係団体	○「たいこうビジネスプランコンテスト2018」の開催(後援予定:上越市) ○「たいこう創業塾」の開催 ○医療・介護分野、農業分野、創業分野、環境分野に係る金融支援 ○事業承継・M&Aへの相談支援 ○ビジネスマッチング、各種商談会の出展支援 ○各種セミナーの開催
B07	株式会社大光銀行	402	C-2-2	まちの活性化応援事業	1.目的:空き家問題への対応、持ち家を活用したゆとりあるセカンドライフづくり 2.取組内容:①空き家ローンの活用 ②リバースモーゲージの活用 3.連携体制:上越市、その他関係団体	○「リバースモーゲージローン」取扱受付中 ○「空き家対策ローン」(空き家リフォームローン、空き家解体ローン)取扱受付中

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B08	株式会社第四銀行 (高田営業部)	410	A-1-3	地場産業の競争力強化に向けた創業・事業承継支援	<p>【創業・事業承継支援】</p> <p>目標:地域の新しい事業柱の育成支援、既存産業の持続的な発展の支援</p> <p>現状の取組:創業セミナーの開催、事業承継へのコンサルティング、M&Aの仲介</p> <p>将来的な取組:助成金を活用した新たな地場産業の支援、既存産業の持続的な発展の支援</p> <p>連携機関:上越市、新潟県信用保証協会、日本政策金融公庫、M&A提携会社</p>	<p>・グループ会社である、だいし経営コンサルティング(株)と連携し、創業から持続的成長に至るまでを一貫してサポートする「ニュービジネス・ワンストップサポートプログラム」を開始。</p> <p>・新潟県内での地方創生に資する事業の育成のため、創業者や創業予定者を対象に優れた創業のアイデア・取組を募集し選考・表彰する「にいがた創業アワード2018」を開催。</p> <p>・第四北越FG設立記念として、第四北越事業継承フォーラムを開催。事業継承・M&A各業界の専門家および企業経営者を招き「失敗しない事業継承」と題してパネルディスカッションを行う。</p> <p>・上越市創業支援ネットワーク(市内金融機関等が参加)として、創業者・第2創業者を対象とした「イブニングセミナー」を2回開催。当行創業アワード受賞者から講師として体験談を語っていただき、講評いただく。</p>
B08	株式会社第四銀行 (高田営業部)	420	A-1-3	地場産業の競争力強化事業に向けた販路拡大支援	<p>【販路拡大支援】</p> <p>目標:メイドイン上越産の全国へのPR</p> <p>現状の取組:新潟県内外でのビジネスマッチング、展示会・商談会の開催、ブリッジにいがたを活用した観光・地元産品のPRを東京へ直接発信</p> <p>将来的な取組:クラウドファンディングの活用提案、導入サポート</p> <p>連携機関:上越市、大学、他金融機関</p>	<p>・新たなビジネスチャンスの提供を目的ににいがた食と総合ビジネス商談会(しよくBiz!)を開催。また生産性向上につながる商品・サービスを提供している企業によるミニセミナーなどを用意し、各分野の生産性向上につながる情報提供を行う。</p> <p>・新潟の新しい地域ブランドの創造を目的に「第3回NIIGATAビジネスアイデアコンテスト」を、第四銀行、北越銀行、(株)新潟三越伊勢丹、東日本旅客(株)が共同で実施。マーケティングやビジネスマッチングなどの事業化に向けたサポートを提供。</p>
B08	株式会社第四銀行 (高田営業部)	430	C-2-2	地方都市における経済・生活圏の形成に向けた住宅取得促進	<p>【住宅取得促進】</p> <p>目標:移住者の居住を安心してサポートできる体制作り、小さな拠点の仕組づくり</p> <p>現状の取組:①中古住宅の担保評価を売買価格を前提とした商品内容の充実 ②上越ローンプラザによる利用しやすい相談窓口の充実</p> <p>将来的な取組:「中古住宅の情報館」として市・民間業者・金融機関による共有化された情報データの提供(築年数・建築業者名・町内案内図ほか)</p> <p>連携機関:上越市、住宅関連業者、不動産業者</p>	<p>・一般社団法人 移住・住みかえ支援機構(JTI)の「マイホーム借上げ制度」を活用した融資制度3商品の利用促進。シニア層を対象にご自宅を売却することなく住み替えの資金などに活用できるうえ、転貸される家は子育て世代などの若年層等を対象とした賃貸住宅として活用する仕組み。</p> <p>①住みかえ住宅ローン ②空き家活用型リフォームローン ③空き家活用型リバースモーゲージローン</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B08	株式会社第四銀行 (高田営業部)	440	C-2-2	地方都市における経済・生活圏の形成に向けたPFI・PPPの推進	<p>【PFI/PPPの推進】</p> <p>目標: PFI/PPPの潜在ニーズの具現化 現状の取組: PFI/PPPセミナーの開催、地公体ニーズの具体的なサポート、新潟県との共同セミナーの開催 将来的な取組: 地方の公共施設のPPP活用提案、マーケット調査支援、事業計画策定支援 連携機関: 新潟県、上越市、中核企業、他金融機関</p>	<p>・平成17年度に締結した新潟大学との包括連携協定に伴い、地元就職に向けた学生・企業との交流促進として、上越地区の企業4社に新潟大学生が交流訪問を実施。</p>
B09	株式会社富山第一銀行 (直江津支店)	450	A-1-3 C-2-2	仕事づくり事業、就労支援事業	<p>「地域(ふるさと)創生ファンドの提供」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出条件面での金利優遇 ・事業計画の策定支援(目利き力による融資) ・専門家派遣支援 ・各種事業にマッチした補助金情報の提供 ・当行ネットワークを利用したビジネスマッチング情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画の策定支援(事業性評価に基づく貸出条件取組) ○各種専門家派遣による支援。 ○積極的な補助金制度の活用。 ○当行ネットワークを活用したビジネスマッチング推進。
B09	株式会社富山第一銀行 (直江津支店)	460		「地方創生」に対する推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方自治体の「地方版総合戦略」の策定に関し、当行は情報提供・分析・提案等を積極的に行います。 ・ビジネスソリューション部を本部とし、富山県内の16自治体、新潟県内の2自治体について当該自治体を拠点とする支店の支店長等を「地方創生担当窓口」に任命しました。 また、当行ビジネスプラザ支店にビジネスソリューション専担者を3名配置し、体制整備に努めています。今後プロジェクトチームを立ち上げ、推進体制のさらなる構築を図る予定です。 ・「しごと」と「ひと」の好循環作りを加速させるため、当行では「ビジネスマッチング」、「創業・新事業支援」、「海外事業支援」及び「事業再生・資源再配分」といったサポート機能を発揮するとともに、「地域(ふるさと)創生融資」等の提供を通じて、地方創生支援に向け本部、営業店が一丸となって取り組みを進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○富山県内の16自治体、新潟県内の2自治体担当の各支店長と本部(ビジネスソリューション部)が連携し、「地方版総合戦略」に対する提案を行っていく。 ○PFIへの取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体関係者と各自治体担当支店長によるミーティングを開催。取組実施状況、必要性、取組事例紹介など自治体との連携を密にしてPFI事業へ取組む。 ・PFIへの金融支援策としてシンジケートローン組成に取組む。 ○産学官金連携による6次産業化推進 <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関としてのコンサルティング機能の発揮や、当行のネットワークを最大限に活かし、6次産業化の推進による地域活性化を目指す。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B10	株式会社八十二銀行(高田支店)	470	A-1-3	八十二銀行の地方創生に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・別添「八十二銀行の地方創生に向けた取組」に基づく地方版総合戦略策定への協力 ・想定している取組方針、サポート内容につきましては別添資料参照願います。 ※一部長野県向け施策については対象外となります。(コワーキングスペース、サポートファンド等) ・具体的には、補助金を活用した創業支援への協力が、一番現実的であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①創業・創業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・創業(起業)予定者に対する創業計画書支援、専門家紹介、人材斡旋等。 ・新規創業先(創業前～創業後1年未満)への融資提案。 ・県事業引継ぎ支援センターへの案件取次ぎ。 ②企業誘致・立地支援 <ul style="list-style-type: none"> ・各支店への不動産情報、営業支援・斡旋情報の発信。 ・本部職員による関東地区の企業への個別訪問。 ③次世代・成長産業育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ファンド投資(地域活性化・農業)提案。 ・農業、医療・福祉事業者及び再生エネルギー関連融資提案。 ・地方公共団体へのPPP/PFI提案。 ④外部専門家を活用した課題解決支援 <ul style="list-style-type: none"> ・産学官金連携(信州大学、中小企業基盤整備機構等)。 ・外部専門家活用(ミラサポ、長野経済研究所アドバイザー・アイシンコラボ)。 ⑤移住促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・関東圏の各店舗に移住相談窓口を設置し、住宅ローン等紹介による移住促進。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の取組内容
B11	株式会社北越銀行 (高田支店)	480	A-1-3	「地域企業応援パッケージ」による「しごとづくり」への貢献事業	<p>1.背景(「地域経済分析システム(RESAS)のデータより)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業数の減少(2009年と2012年の比較:469社減少) ・創業比率の低迷(2009年～2012年:全国平均1.84%に対して1.37%) <p>2.目的・目標 地域産業の競争力強化と雇用の創出</p> <p>3.実施内容(「地域企業応援パッケージ」の実施)</p> <p>①ふるさと投資(クラウドファンディング)、②総務省の「地域経済循環創造事業交付金」、③六次産業化ファンド、④技術協力室、⑤日本政策金融公庫との女性活躍応援連携融資パッケージ「トップレディー」など当行の金融・コンサルティング機能を発揮していくことで、創業、地域資源活用、地域ブランド化、成長分野強化、女性の就労先確保などを支援していく。</p> <p>4.実施体制 上越市内3ヶ店(高田支店、直江津支店、南高田支店)と本部(コンサルティング営業部他)が、貴市(「メイドイン上越」認証制度とも連動)ならびに長岡技術科学大学・長岡造形大学など大学や外部機関とも連携し、上記事業を進めていく。なお、上記3.①については補助金を検討いただきたい。</p>	<p>〈すべて当行全体としての取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域金融機関として、金融・コンサルティング機能を発揮することで「しごとづくり」に貢献 ・「ホクキン地方創生パッケージ」を活用した創業支援(創業応援ローン)、女性の活躍支援(女性活躍応援連携融資)への取組強化 ・当行技術協力室による取引先への技術的課題解決支援や、ものづくり補助金申請支援を実施 ・「米百俵私募債ファンド」の収益金の一部について新潟県への寄附を実施予定

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B11	株式会社北越銀行 (直江津支店)	490	C-2-2	「地域企業応援パッケージ」による「まちの活性化」への貢献事業	<p>1.背景 ①2014年4月、公共施設等総合管理計画策定要請。2015年6月、骨太の方針に人口20万人以上の自治体のインフラ整備にPPP/PFI検討原則化 ②地域交流・地域支え合いの拠点としての機能強化の必要性</p> <p>2.目的・目標 公共施設・公的不動産の利活用についての民間活力の活用、安心な暮らしの確保</p> <p>3.実施内容(「地域企業応援パッケージ」の実施) ①PPP/PFI事業化・組成支援 独立採算型による地域密着型PFI事業の取り組みサポート ②高齢者見守り事業への協力 日常活動の中で発見した異変を関係部署に連絡</p> <p>4.実施体制 ①民間資金等活用事業推進機構などと連携 ②貴市による事業実施が前提(警察・消防、他金融機関、社会福祉協議会などと連携)</p>	<p>○地域金融機関として、金融・コンサルティング機能を発揮することで「まちの活性化」に貢献。 ○空き家解体資金についてもリフォームローンで対応中。 ○創業・起業者を支援するため、創業応援ローンの金利引き下げを拡充中。 ○女性活躍応援連携融資を実施中。 ○シニア世代の住宅に関する資金ニーズに対応すべく、住宅金融支援機構の住宅融資保険を付保した取扱を開始。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B12	新潟県信用組合 地方創生推進委員会	500	A-1-3 C-2-2	地方版総合戦略の 策定・推進に向けた 協力	<ul style="list-style-type: none"> 「けんしん地域活性化支援資金」による金融支援 平成27年5月1日～平成28年3月31日 関係団体との協議、連絡による協力体制の策定 	<p><地域活性化支援による貢献事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「けんしん地域活性化支援資金」による金融支援 ○上越市地域限定「けんしん『地域のチカラ』支援資金」による金融支援 <ul style="list-style-type: none"> ・当組合の高田支店・春日山支店・柏崎支店3店舗の限定商品として地域貢献の為の融資商品として取扱いを平成30年2月より開始いたしました。 ※「上越地域の観光事業・郷土料理・名産品・宿泊等」地域の観光資源に携わる法人又は個人事業者の方への対象商品となります。 ○「創業・新事業支援ローン」による金融支援 ○「けんしん創業アカデミー」開催による創業者支援 ○「けんしん住宅ローン・まちづくり元気応援制度」による定住支援・子育て支援各割引制度 ○上越市まち・ひと・しごと創生協議会への参画 ○上越地域限定「育メン・ママ友ローン」による子育て支援 ○「上越市創業支援ネットワーク」を通じた創業者支援
B13	日本政策金融公庫 高田支店	510	A-1-3 C-2-2	事業創生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ○事業創生プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・日本公庫では、「新規開業資金」などのご融資を通じて、あらたに事業を始める方や事業開始後の方のお手伝いをさせていただきます。地元での開業企業数を増加させ、地域の雇用を創出していきます。具体的には、上越市創業ネットワークのメンバーとして、創業セミナーの開催や公庫創業サポートデスクを通じて、様々な情報提供や提案と創業を志す方のバックアップを行っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上越市創業支援ネットワークによる活動 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回創業セミナー開催(30.6.28) ・第2回創業セミナー開催(30.11.27) ・創業塾開催(30.9.22～30.11.17の毎週土曜日(10回)実施) ・創業者くらぶへの参加(30.9.10、30.10.15、30.10.12、31.2.4(4回)) ○新規開業貸付等の融資を実施

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B13	日本政策金融公庫 高田支店	520	A-1-3	事業継続支援プロジェクト	<p>○事業継続支援プロジェクト</p> <p>・事業の安定と発展、廃業の抑制を図るためのお手伝いをさせていただきます。事業所の維持・発展は、地域の雇用増加にもつながり、市内への人の流入にもつながります。具体的には、全国152支店網を活かしたビジネスマッチングシステムの活用や公庫主催の国内最大規模の国産農産物展示商談会(アグリフードEXPO)を通じての、上越市内の企業家や農業家等の販路の開拓支援を行います。また、廃業の抑止に資する事業承継支援資金を通じての金融支援を進めていきます。</p>	<p>○商談会の開催</p> <p>・アグリフードEXPO東京の開催(30.8.22~23)</p> <p>・アグリフードEXPO大阪の開催(31.2.20~21)</p> <p>○事業承継支援資金等の融資を実施</p>
B13	日本政策金融公庫 高田支店	530	B-2-2 B-2-3	子育て支援プロジェクト	<p>○子育て支援プロジェクト</p> <p>・日本公庫の「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」及び「教育の機会均等」を目的として、昭和54年に創設されました。これまでに全国で延べ500万件のご利用をいただいております。</p> <p>・日本公庫では、昨今の厳しい経済状況において多くのご家庭で教育費負担が増大している中、「国の教育ローン」を通じて、国内外の大学、専修学校、高校などの進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭の方を対象に融資による修学面の支援を行ってまいります。</p>	<p>○教育資金貸付(国の教育ローン)を上越市内の高校に保護者への周知依頼を実施</p> <p>○教育資金貸付(国の教育ローン)の案内を「広報上越」へ掲載(31.1.15号)</p> <p>○教育資金貸付(国の教育ローン)のポスターを直江津駅、春日山駅、高田駅及び南高田駅構内に掲示</p> <p>○教育資金貸付(国の教育ローン)の融資を実施</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B13	日本政策金融公庫 高田支店	540	C-2-2	ソーシャル支援ネットワークプロジェクト	<p>○ソーシャルビジネスネットワーク構築プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本公庫では地域社会の課題解決に取り組み、安定的な雇用を創出しているソーシャルビジネスの担い手である、NPO法人など地域の問題を解決しようとする事業者さまを積極的に支援しています。 ・日本公庫でソーシャルビジネス支援等の経営支援を目的とするセミナーを全国各地で開催しています。 ・社会的課題の解決を目的とする事業者さま、保育サービス、介護サービス等を営む方、NPO法人などを対象とした「ソーシャルビジネス支援資金」を創設いたしました。 ・上越市や支援機関さまと連携させていただくことにより、NPO法人などの事業者さまからの融資のご相談・お手続きに対して、迅速に対応できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク会議の開催(30.7.23) ○無料相談会の開催(30.8.21、30.9.18、30.10.16、30.11.20、30.12.15) ○市民交流会に参加(30.7.5) ○ソーシャルビジネス支援資金等の融資を実施
B13	日本政策金融公庫 高田支店	550	A-3-1	高校生ビジネスプラングランプリ	<p>○高校生ビジネスプラングランプリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活力ある日本を造り、地域の活性化のためには、次世代を担う若者の力が必要です。高校生を対象に実社会で求められる「自ら考え、行動する力」を培うことを目的に日本公庫では「高校生ビジネスプラングランプリ」を開催しています。第2回(平成26年度)グランプリには全国1,717件(207校)のエントリーがあり、最終審査会に選ばれた10校が東京大学伊藤謝恩ホール(東京都文京区)プレゼンテーションに臨みました。 ・日本公庫では応募いただいた高校を訪問し、ビジネスプランや資金計画の作り方などについて「出張授業」を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生ビジネスプラングランプリ ・上越市内の高校に高校生ビジネスプラングランプリについて周知(30.4~30.6実施) ・出張授業及びグランプリへの参加を案内(30.5~30.7) ○上越市内1校(高田高校)で出張事業を実施

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B14	株式会社オアシス	560	A-1-4 A-2-1 A-3-2	上越まるごと応援隊 MogMogシスターズ プロジェクト【地方創 生推進事業補助金 活用】	1.上越市の食材を使ったイベントの計画 2.トラックを使った移動PR部隊の都会への派遣 (MogMogシスターズ) ・地域の農産物:米・野菜・加工品など ・地域のイベントの紹介PR(観光) ・ツアー商品の紹介など 3.旅行代理店を共に行うMogMogツアー(雇用) 上記についての計画を実行 これらについて新規雇用を生む	○「野菜ふるさと市/MOG-MOGフェア」に出店している農家の野菜を使ったオリジナルレシピを5品考案し、「大試食会MOG-MOGフェスタ」を開催。 ・目的:①レシピの紹介 ②次年度東京で開催予定の「MOG-MOGフェスタin TOKYO」の予行演習。 ・開催日:平成30年11月30日(金) ・会場:上越市ラーバンセンター(上越市大和) ・有料参加者:50名、スタッフ9名、媒体2社 ※会場で、本事業や料理について意見交換やアンケートを行った。 ○上記レシピに改良を加え、レシピカード(5品、100セット)を作り、3月9日の「MOG-MOGフェア拡大版」で来場者に配布した。 ○「MOG-MOG」のウェブサイトを立ち上げた。 (上越の野菜や加工品を紹介、今後の販売に向けた準備) ○「MOG-MOGフェア拡大版」を開催 ・開催日:平成31年3月9日(土) ・参加店舗:10店舗 ・会場:上越妙高駅脇野田通り ※会場で、レシピカードを配布した。 ※J-Mエコーズ(東口もてなしドーム)、 「ナマ・ステ」(西口光のテラス)とのコラボ開催。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B15	上越商工会議所政策委員会(謙信公)	570	A-2-1	謙信公聖地構想/春日山城を核とした「しろ巡り&まち歩き&食べ歩き」【地方創生推進事業補助金活用】	<ul style="list-style-type: none"> ・上越商工会議所と(公社)上越観光コンベンション協会が平成26年策定した「謙信公・聖地(フィールド・ミュージアム)」構想を推進し、観光交流人口の拡大を図る。 ・上越市の観光振興重点地区である「春日山城跡」の景観整備・観光客の受入れ体制の構築、地域資源を活用した物産品・食の開発を通して魅力向上を図る。 ・同構想の各事業を順次実施していくことで「謙信公・春日山」に観光客を呼び込み、同所を起点とした市内周遊ルートを構築し、経済波及効果を作り出す。=上越市観光の産業化 ・上越商工会議所、(公社)上越観光コンベンション協会、自治体、市内事業者、地域連携(上田市等)を想定している。 	<p>ツーリズムEXPOに上越市まち・ひと・しごと・創生推進協議会加盟の6団体とともに旅行会社との商談会に参加し、エスコート商品を得意とする大手旅行会社だけでなく、インバウンド向けの商品を取り扱う旅行会社やネット向けの商品を取り扱う企業などとも面談し、上越の魅力をアピールした。また、三国同盟PR用のクリアファイルを作成し、EXPOの一般来場者に三国同盟パンフレットや観光パンフレットと共に配布すると共に、当所ブースにおいては、上杉謙信・武田信玄・真田幸村のコスプレ体験をして頂き、携帯カメラで撮影して頂くことでSNS上での拡散を促すなど、地域のPRに努めた。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B16	上越観光コンベンション協会	580	A-1-1 A-2-1 A-2-2	魅力ある観光地づくり事業	<p>当協会では、観光事業及びコンベンション事業を本市への誘客の主軸とし、観光交流人口を拡大させ、経済波及効果・定住人口の増加につなげることを目標とする。</p> <p>○観光施設の運営: 上越妙高駅、高田・直江津駅観光案内所の窓口業務、海水浴場等の管理運営</p> <p>○観光イベント: 高田城百万人観桜会の運営</p> <p>○観光宣伝事業: 上杉謙信公、春日山、高田公園の桜を中心にPRを展開</p> <p>○食を通じたPR: 飲食店ガイドブックの作成、ご当地グルメの開発・普及</p> <p>○着地型旅行商品の開発: 観光ボランティアガイド、二次交通、体験型商品</p> <p>○広域観光ネットワークの推進: 上越・妙高市連携事業、新潟・佐渡・上越市の3市周遊ルートの形成、</p> <p>○コンベンション誘致: 学会・スポーツ大会の誘致、コンベンション主催者への支援</p> <p>○観光物産展推進事業: 姉妹都市等での物産展の開催</p> <p>○各種事務局: フィルムコミッション、上越まつり、上越蓮まつり、レルヒ祭</p>	<p>・県、市と連携を図り、インバウンドおよび国内旅行商品造成のため営業活動を行う。</p> <p>・「謙信公・聖地(フィールドミュージアム)」構想を推進し、交流人口拡大を図る。</p> <p>・MICEを誘致するための各種補助金の交付</p> <p>・MICE誘致のための協議会等の在り方検討を進める。</p> <p>・コンベンション誘致を推進するため、各種商談会への参加</p> <p>・観光・物産展を通じて市内特産品の販売、販路拡大を目指す。</p> <p>・着地型旅行商品の造成・メニュー増加</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実行内容
B17	上越観光案内協会	590	A-2-1	古民家を核とする地域コンテンツ創造事業	<p>地域の担い手になる者の定住を促進する為には、働く事だけでなく趣味や遊びを通じて生き生きとした暮らしの糧を得ることのできる場が必要であり、また時代や環境の変化に対応出来る柔軟な発想力を併せ持つ粘り強い産業振興が必要。</p> <p>上越地域の基幹産業の農業や観光の振興はもとより、自然志向型(信越トレール・冬期間のバックカントリースキー・スノボ・光ヶ原キャットツアー・クラブフルド妙高)等々、上越地域ならではの地域資源を生かした都市部との交流事業の更なる魅力化を図る。</p> <p>(UIJターンの取り込みを狙った)取り組みとして日本人のみならず、旅慣れた外国人旅行者に対し、日本の雪国の原風景を残す築400年の古民家(江戸初期)と約3000坪の庭園、山林、農地を持つ清里区のS邸を有効利用し体験型ゲストハウス及びカフェ&レストラン・パン工房・ケーキ工房・地域の生産者が作る、美味しく安全な米と野菜の販路開拓販売。</p> <p>訪れた人々にこの地域に豊富にある自然・歴史・文化資源などをピンポイントで案内しこの地のファンになってもらい共に適切に保全する。</p> <p>上越地域の過疎地固有(中山間地)の地域資源「雪・食・住・環境」を組み合わせて取り組む(休耕田を利用する山菜園や雪を利用した抑制栽培など)基盤を作り、この古民家を新たな地域のコンテンツとして位置づけ上越地域(糸魚川・十日町)の顧客志向宿のモデルを目指す。</p>	<p>「加州大聖寺藩参勤交代うおーく2019」</p> <p>・平成31年度の事業として急浮上した「加州大聖寺藩参勤交代うおーく2019」の支援の案件に関しては、当会を日頃から支援していただいている皆様に諮った結果、このまちに「上越支援歩行実行委員会」を立ち上げて、このイベントを支援しながら、このまちの「まちおこし」につなげようとする活動を平成30年の後半を費やした。結果、上越市町内会長連絡協議会、ロータリー第2560地区など多くの団体から支持を得て、実行委員会を立ち上げて参道団体全員で参加者募集活動を進めてきた。当会は、その事務局を担い、加賀市の実行委員会と連絡を密に進めてきたところである。</p>
B17	上越観光案内協会	新規	—	おもてなしアップと地域の魅力PRによる外国人誘客事業【地方創生推進事業補助金活用】	—	<p>「インバウンド誘致」</p> <p>平成29年度から開始した「まちおこし」の具体的な活動の一つである外国観光客の誘致について、マレーシアからの団体客の誘致に向けた活動を実施した。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B18	頸城観光協会	600	A-2-1 C-3-2	観光による地域活性化	頸城地域協議会で平成24年に区内の地域団体等に地域活性化の為に事業提案を促したところ65項目の意見や提案が寄せられ、頸城区に貴重な歴史・文化自然資産があり、これらを地域で守り、NPOや住民団体があるが、地域を上げて魅力を総合的に、企画、発信する機能に欠けている。観光を核とした地域振興策が必要であるとの多くの声があがり、これを受け地域協議会が区内の各団体に対し、連携した地域振興による、地域振興への参画を呼びかけたところ多くの賛同を頂き、地域が主体となって、取り組む、頸城区観光協会の設立を中心とした、【観光振興を核とした頸城区地域活性化事業】を地域を元気にするために必要な提案事業として、提案した。上越市の第6次総合計画の[すこやかなまち～人と地域が輝く上越～]に合致するものとして第一号に認定していただいた。	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月先進地視察→H31.3.16に変更(村上市) 30年5月バスツアー計画→H31.3.4及び3.11に変更 後援PR活動29年度と同じく5月6月9月10月をPRする。 11月イモ煮計画→H30.11.17実施 12月忘年会計画→新酒まつりに変更(H31.2.16実施) 31年坂口ひなまつり3月 坂口椿祭り4月PR活動を行います。 H30.9.24 大池まつり H30.10.13 月見の会
B19	上越ワーキングネットワーク	610	A-3-3	共同受注・共同販売事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年4月1日に市内の障害福祉施設のネットワーク(上越ワーキングネットワーク)を設立した(7月1日現在市内外15施設加入、利用者約500人) ネットワーク設立以前は基本的に各施設での仕事の受注となっており、大規模な仕事の受注は困難であった。 共同で受注することで大規模な仕事の受注も可能となる。 ワーキングネット内に、共同受注・共同販売に関する部会を設置し、活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上越市農福連携障害者就労支援コーディネート事業の受託。 ○行政・企業から共同受注業務の受託。 ○各種イベントでの共同販売会の実施。エルマールでの自主販売会実施。 ○PR活動。毎月一回FMjに出演。 ○PC等の基板回収事業

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実行内容
B20	NPO法人上越地域活性化機構	620	A-2-1	デジタルサイネージ事業	<p>【目的】 デジタルサイネージのネットワークを構築することで、ICTを活用した情報伝達の基盤を確立し、地域を活性化します。 1.上越地域の情報ターミナルを確立し、日本一のICTを活用した街を目指します。 2.上越妙高駅を核として上越を訪れた人々を地域へ誘導します。 3.交通の各拠点にデジタルサイネージネットワークを構築し、利用効果を高めます。</p> <p>【事業内容】 (1) デジタルサイネージの機器販売、設置 (2) デジタルサイネージの運用管理、保守 (3) 広告営業 (4) コンテンツ制作 (5) 地域の観光・産業などの情報発信 (6) デジタルサイネージの普及拡大 (7) 災害時等の緊急情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> 海外デジタルサイネージへのコンテンツ配信業務の調査 →次年度以降の実施予定 上越地域へのデジタルサイネージの面展開 →検討中
B20	NPO法人上越地域活性化機構	新規	—	オープンデータ利活用促進事業	—	H31新規事業
B20	NPO法人上越地域活性化機構	新規	—	IoT利活用促進事業	—	H31新規事業

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	630	A-1-3	東京海上グループソリューションによる地方創生実現サポート	●BCP策定支援((株)東京海上日動リスクコンサルティング) 「巨大災害時の減災、早期復旧・復興に向けたBCP策定支援(※自治体との連携要)」	○BCP対策支援 地域企業の皆様のBCP策定サポート(個別支援・セミナー及びワークショップ)を実施。 ◆参考:2018年3月8日新潟県・公益財団法人にいがた産業創造機構主催「危機管理(事業継続)セミナー」の後援企業として企画運営サポート。講師は「東京海上日動リスクコンサルティング(株)」。県と連携したBCP推進を継続実施。 ○健康経営の取組支援 (2年連続健康経営銘柄取得) ◆健康経営銘柄取得企業としてのノウハウを活かし、地域企業の皆様が健康経営に取組むための実務サポートを実施。(含:がん対策基本法改正の周知及びがんセミナー開催、保険導入のメリット活用等)
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	640	A-1-1	海外輸出支援(海外PL団体制度)	●海外輸出支援((株)東京海上日動リスクコンサルティング) 「輸出先国の法規制調査」「製品リスク洗い出し」「取扱説明書・警告ラベル診断」「海外PL制度」	○海外PL団体制度の普及活動継続 観光客が海外に土産品を持ち出す場合の間接輸出の賠償リスクへの備えとして不可欠であり、地域企業の皆様に情報提供し、メイドイン上越の品物(土産品)を安心してご提供できる環境整備に取り組む。
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	650	A-1-1 A-1-4	農業経営安定化支援(異常気象災害時のリスク低減)	●農業経営安定化支援(東京海上日動火災保険(株)、(株)東京海上日動リスクコンサルティング) 「異常気象災害時のリスク低減(※金融機関様と連携要)」「食中毒事故対応、品質管理コンサル」	○個別提案の継続
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	660	A-2-1	外国人観光客の緊急時医療相談窓口開設	●外国人観光客の緊急時医療相談窓口開設(東京海上日動メディカルサービス(株)) 「日本国内での外国人向け医療相談(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応)」	○事業ID680への統合
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	670	A-1-3	人材採用・雇用対策	●人材採用・雇用対策(株)東京海上日動キャリアサービス、東京海上日動火災保険(株) 「社員採用時の人材紹介」「代理店候補生の採用・育成による雇用創出」	○社員採用時の候補人材のご紹介サービス(東京海上日動キャリアサービス)

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	680	A-1-3	団体保険制度による企業防衛(「海外PL(間接輸出を含む)」業務災害補償(ストレスチェックサービス提供))	●団体保険制度による企業防衛(上越商工会議所、東京海上日動火災保険株) 「海外PL制度(グレーゾーン対応型)」業務災害補償制度(ストレスチェックサービス付帯)	○おもてなし規格認証(※) 導入支援 (※)経済産業省が創設。弊社は認証支援事業者に認定) ◆おもてなし規格認証の導入サポートを通じて、地域企業の皆様のサービス品質向上を支援し、経済活性化の実現に取り組む。 ○ビッグデータを活用したインバウンドビジネス支援(内閣府特命担当大臣賞2年連続受賞) ◆Twitter全量データやWeiboなどのSNSデータを活用した外国人観光客の観光動態・嗜好調査から分析結果をレポートにまとめ情報提供を実施。 ○インバウンドビジネス支援サービスの普及(ビジネス総合保険制度の導入支援) ・インバウンド情報提供サービス ・インバウンドコンサルティングサービス (a. 集客力強化支援、b. 受入態勢強化支援) ・多言語電話通訳サービス(事故やトラブル時の通訳) ・おもてなし診断サービス
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	690	A-3-3	女性の活躍推進に向けた環境整備	◆女性の活躍推進に向けた環境整備(東京海上日動メディカルサービス株) 「小児緊急電話相談を含むメディカルコールセンターによる働く女性サポート」	○サービスの継続提供
B21	東京海上日動火災保険株式会社 上越支社	700	B-2-4	CSR活動としての教育支援	◆CSR活動としての教育支援(東京海上日動火災保険株) 「みどりの授業(環境啓発)」「ぼうさい授業(災害対策)」※小学校向け	○サービスの継続提供

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B22	上越商工会議所政策委員会 (青年部)	710	C-1-1 C-1-2 C-2-1	～ストレスフリーなまちづくりで、交流人口を増やす！～ 日本海側で初めての「老いを楽しめるまち」を作る！	<p>・「ストレスフリー」「老いを楽しむ」「有意義に生きる」をキーワードとしたサクセスフルエイジングを体现できる街づくりを推進し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>・上越地域の特性を活かし、首都圏に住むリタイア世代の生活体験パッケージ『心身ともに健康でアクティブに生きる』を構築する。</p> <p>・構築にあたっては産業界(農・林・漁・商・工)、学術機関、先進地域と連携。</p> <p>・パッケージ例として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発酵食品で健康に！ ・日本酒でジャパンパドックス～上越の酒で老けない人生を！ ・雪中運動で健康に！ ・体験農園でリフレッシュ！ ……など <p>・当地に滞在してもらうにあたっては、空き家(市街地・山間地)、農園などを有効活用する。</p> <p>※地域住民との交流を通じ地域コミュニティに溶け込み、上越市を好きになってもらう。</p> <p>・さらに、社会的ストレス過多が引き起こす“未病”(病気ではないが健康でもない状態)に関する研究も行う。</p> <p>・地元企業が連携し、未病改善に取組み、データを集積することで次世代に活用。</p> <p>・「老い」を研究する機関を設置し、福祉・医療・教育分野に活かす。</p> <p>事業共同体(構成団体は下記想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体(新潟県及び上越市) ・民間企業(健康産業関連企業など) ・大学・研究機関(上越教育大学など) ・連携協力自治体 <p>※上越商工会議所青年部→事業共同体への側面的支援を担う</p>	<p>○特に事業を計画していない</p> <p>※本年4月当初の正副会頭会議にて事業実施する見込みがないため4月をもって当事業を取り下げることを報告し、正式に辞退を決定します。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B23	平安セレモニー株式会社	720	B-2-1	結婚支援サポート事業	<p>事業背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の結婚離れは、情報化社会、社会情勢の変化により、お付き合いに消極的な男女が増加している傾向が原因でもある。お付き合いの楽しさ、結婚を目的とすることの理解の必要性、その為には、まずは自分に自信をつけてもらい、出会いの場を提供した上で、積極的にお付き合いを後押しすることが求められている。 <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未婚の方が、自分に自信をつけて婚活出来るように、自分磨きが目的のプライムレッスンの開催。 ・未婚の方同士がお付き合いの相手を見つける婚活パーティの開催。 ・登録者同士の紹介シートを用いたお見合いシステムの導入。 ・登録者へ専任のコンシェルジュが丁寧に、その方に合ったサポートを行う。 	<p>ファーレン新潟『婚活支援サポート事業』デュオセッション2階サロンで営業しています。婚活パーティー25回開催 総参加人数222名 パーティーマッチング組数36組 お見合い組数88組</p>
B24	上越商工会議所政策委員会(女性会)	730	B-2-1	上越商工会議所めぐりあい事業	<p>「上越商工会議所めぐりあい事業」と題し、会員企業従業員の独身男女の出会いをサポートし、当市での結婚・就業・定住、そして人口減少の克服(少子化対策)を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業約2000件のスケールメリットを活かした男女の出会いの場を提供でき、会議所が行うことで参加する男女にとっては安心感(送り出す企業も同様)がある。 ・従業員が出会うことで異業種交流にも繋がり、企業側にとっても会社経営の活性化となる 	<p>新潟県「あなたの婚活」応援プロジェクト出会いイベント等開催支援事業補助金を活用し、めぐりあい事業を2回実施した。</p> <p>①異業種交流会PART.1 新年！開運！異業種交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 H31.1/11(金) ・会場 オーレンプラザ ・人数 75人 <p>②異業種交流会PART.2 うみがたり婚活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 H31.2/16(土) ・会場 うみがたり ・人数 27人

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B25	上越助産師会	740	B-2-2 B-2-3	母子保健事業	(1)会員 施設勤務と個人開業 (2)事業内容 ①助産師会 いいお産の日 10月24日 妊婦10名に沐浴プレゼント ②上越市母子保健事業 ③妙高市母子保健事業 ④性の健康講座 ⑤その他 個人開業で沐浴、乳房ケア、助産院経営、上教大講師、上越看護学校講師など	○助産師会独自の重点事業 ①妙高市出会い子育て応援フェア参加(H30.5.27) ②いいお産の日イベントとして秋色縁日に参加 ○上越市母子保健事業 ○妙高市母子保健事業 ○性の健康講座 ○その他 個人開業で沐浴、乳房ケア、上教大講師など
B26	NPO法人マミーズ・ネット	750	B-2-2 B-2-3 B-2-4	子育て親子の居場所づくり	○子育て親子の居場所づくり ・地域で支えあう仲間作りと「孤育て」の解消を目的とする	○乳幼児を子育て中の親が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として、「子育ての応援ひろば ふう」を週に2回開設
B26	NPO法人マミーズ・ネット	760	B-2-2 B-2-3 B-2-4 B-2-5	子育て情報の発信【地方創生推進事業補助金活用】	○子育て情報の発信 ・じょうえつ子育て応援誌 With Kids の発行 ・JCV『子育て応援団』の企画参加 ・地元密着のすぐ使える子育てに役立つ情報の提供 ・じょうえつ子育てinfo 上越市で子育てする人、特に転入者や初めて子どもをもつ親等に向けて、利用できる子育て支援制度や民間の情報、地域で子育てするために知りたい情報などを1人1人に合わせて伝え、コーディネートを行う。	○「じょうえつ子育て応援誌With Kids NEWS」を年に4回発行 ○親子向けイベント情報の収集と発信 ○イベントカレンダーの製作(毎月)
B26	NPO法人マミーズ・ネット	770	B-2-2 B-2-3 B-2-4	学習・啓発活動(講座・フォーラムの開催)	○学習・啓発活動(講座・フォーラムの開催) ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ・企業への出前子育て講座の実施	○子育て中の人や、子育て支援に関わる人、地域の人等に向けての催し、「子育てわいわいフォーラム」を、「新潟県地域の子育て育成事業」として2019年3月2日に実施。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B26	NPO法人マミーズ・ネット	780	B-2-2 B-2-3	子育てサークル支援	○子育てサークル支援	○育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」の実施 ○同じような悩みや課題をもつ親同士を結び付ける「語り合いの場」を「新潟県地域の子育て力育成事業」として3つのテーマで開催(のべ9回)
B26	NPO法人マミーズ・ネット	790	B-2-2 B-2-3 B-2-4	保育コーディネート	○保育コーディネート	○企業・行政・団体等からの依頼により随時実施
B26	NPO法人マミーズ・ネット	810	B-2-2 B-2-4	地域ができるネウボラ型支援プロジェクト	○地域ができるネウボラ型支援プロジェクト ・新潟県少子化対策モデル事業として今年度から29年度まで実施 ・「地域のネウボラ(地域の助言の場)」を開設し、精神的、時間的にゆとりをもって子育てできるように支援を行う。	○「新潟県地域の子育て力育成事業」として、子育て応援ちょこつとを10月から毎週1回開設し、ちょこつとSOS出動登録者を募集した。
B26	NPO法人マミーズ・ネット	820	B-2-5	上越での子育ての魅力PR事業	○イメージ戦略 ・フォーラムを開催し、「子育ていちばんはこの上越で」を全国にPRし、U・Iターン者を呼び込む。上越で暮らすあらゆる世代に対して上越が子どもを産み育てやすいまちであることをPRし、上越を選び住み続けたいと考える若年層を増やす。 実施主体としては、官民、大学やNPO等が連携して行う。	○地域と親子をつなぐイベント「おやこフェス0,1,2」を2019年3月9日に開催 ○県外、市外での子育てに関する講演のなかで、上越の子育て支援について紹介する。 ○作成した「子育て環境の魅力発信パンフレット」を活用して、上越の子育て環境について紹介する。 ○SNS上での「#上越の子育て」発信を継続していく。
B28	高田本町まちづくり株式会社	840	C-1-1	イレブンプラザ イベント誘致事業	イレブンプラザイベント広場へのイベント誘致 ・商店街への来街のきっかけとして、イレブンプラザイベント広場への毎週末のイベント誘致をおこなう。 ・「毎週何かやっている商店街」というイメージの確立。 ・商店街店舗や他団体と連携し、イベント来場者による商店街の回遊及び、店舗への経済波及効果を目指す。	実施していません。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B28	高田本町まちづくり株式会社	850	C-1-1 C-1-3	本町商店街出店サポートセンター	<p>○本町商店街出店サポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物件情報、補助金情報、商店街の情報をひとつの窓口で提供し、本町商店街への出店希望者のサポートを行う。 ・本町商店街の空き店舗を管理する不動産業者・地権者・商店街・上越市・商工会議所と連携し出店希望者へ有益な情報提供を行う。月～金9時～18時開設中(要事前連絡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本町3～7丁目、大町5丁目の空き店舗物件の調査 ・商店街への出店希望者に対するワンストップ相談窓口の開設 <p>空き店舗物件の調査(月1回実施) ワンストップ相談窓口(常設)</p>
B28	高田本町まちづくり株式会社	860	C-1-1 C-1-3	本町商店街空き店舗巡りツアー	<p>○本町商店街空き店舗巡りツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町商店街の空き店舗物件内部を見学するツアーを企画・開催。 ・すぐに出店を希望する人から、いずれは起業したいと考えている人まで、気軽に参加できるツアー。 ・物件の情報だけではなく、街の雰囲気を体験してもらえるよう、イレブンプラザでのイベントの様子なども見学してもらっている。 ・不動産業者、地権者と連携してツアーを開催している。2カ月に1回開催予定(第1土曜日) 	実施していません。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B30	城下町高田花ロード 実行委員会	880	A-2-1 C-1-1 C-1-3 C-2-1 C-3-1 C-3-2	オープンガーデンと アートで繋ぐまちづく り	<p>○取組概要・・・全国的に人気の高い「オープンガーデン」を景観作りやまちの美化、子供たちやシニア層への園芸療法に生かし、首都圏からの「スケッチツアー」を誘惑することにより、交流実行を増やし、中心市街地の活性化に役立てる。また、来るオリンピックに向けて、商店街を中心としたインバウンド観光を提唱する。</p> <p>○ターゲット・・・市民/東京近郊の「スケッチ画」「水彩画」「ボタニカルアート」などの趣味の団体/花や庭づくりに興味のある人達/町歩きや美味しい日本食が好きな外国人/雪や城下町が好きな外国人</p> <p>○実施のフローチャート・・・中心市街地を核に特色あるオープンガーデンのまちを作る。(ガーデンと温泉、バイキングバスケットの商店街、綺麗になれる庭、海辺のガーデンetc)、公共の施設や企業内の庭などは、シニアや子供たちの園芸療法や園地体験の場として構築していく。→首都圏の「アート」サークルを対象にツアーを企画し誘客→食や物産、祭、年中行事などと合わせて地元住民とのコミュニケーションをはかり、継続的な交流と地域の活性化をはかる。以上の事業に、インバウンド観光を取り入れる。</p> <p>○協力体制・・・上越市/観光コンベンション/商店街/市民/博物館/温泉/旅行代理店/園芸業者</p>	<p>これまでの事業を総括し「花のまち高田プロジェクト」として活動を開始する。</p> <p>今年度は下記の3本の柱で事業を行う。</p> <p>①城下町高田花ロード20周年に向けたPR事業 ②オープンガーデンを核としたまちなか回遊と景観づくり ③インバウンドを核とした商店街活動と高田のまちの振興事業</p>
B31	直江津まちづくり活 性化協議会	1010		ガイドマップ作成事 業	平成26年度発行のガイドマップを最も来街が見込まれる夏季に増刷するとともに、平成27年度内に掲載内容の更新版を発行。直江津地区の魅力発信による誘客と街なか回遊の向上を図り、通年の賑わいづくりにつなげる。	●当会オリジナルガイドマップ「みなとまち直江津みどころガイド」を情報更新のうえ、31年3月に6,000部を発行。市内各所にて配布。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1020	C-1-1	鉄道資産利活用検討事業	京都など鉄道による活性化先進地区の視察や勉強会を実施して、「新潟県鉄道発祥の地・直江津」を発信する仕掛けづくりや鉄道資産も活用した地域振興策を立案。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取り組みにつなげる。	<p>●「なおえつ鉄道まつり」イベントの実行委員会に参画して10月14日に同イベントを開催・運営。当日には鉄道に関する写真・物品等の展示ブースも出展。</p> <p>●直江津駅運転センター(旧機関区)内の扇形車庫を会場にしたイベント、「なおえつ和太鼓フェスティバル」を企画。なおえつ鉄道まつりと同日に開催・運営。</p>
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1030	C-1-1	新水族博物館活用検討事業	新水族博物館の平成30年開業を見据え、知見を有する専門企業も交え、同館を核とする街なか誘引・回遊策や同館周辺の整備計画を検討。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取り組みにつなげる。	<p>●上越市主管の「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」に参画し、実施主体として下記事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちと水族館の情報発信 ・まちなか特典プラン作り ・まちめぐりプロジェクト ・まちなか水族館→まちなか水槽設置プロジェクト <p>●新水族館オープン記念イベント実行委員会に参画。同館オープン後の最初の土・日、6月30日・7月1日に、直江津屋台会館をメイン会場に、「新水族館オープン記念イベント」を開催・運営。</p>
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1040		トキめき鉄道開業周年イベント事業	トキめき鉄道及び北陸新幹線の開業1周年を記念し、直江津地区の商店街や民間団体等が事業連携しながら、鉄道の歴史や直江津の食・文化等を紹介・販売するイベントを実施。直江津の魅力発信による誘客と街なかの賑わい創出を図る。	●実施せず

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B32	本町3・4・5商店街振興組合連合会	890	C-1-1 C-1-3	商店街活性化事業	<p>1. 年間を通じて「観桜会・春フェスタ」・「七夕まつり」・「越後謙信SAKEまつり」・「城下町高田花ロード」・「本町茶屋、年金セール」・「レルヒ祭協賛」などのイベントを実施。</p> <p>2. ショッピングセンターにはない専門性を重視し、個店の魅力向上のため、商店街逸品創出に取り組み、逸品創出事業「いーんだわ、これ」を実施。商品やサービスを紹介したパネル展示、見本市の開催。冊子等を発行した。</p> <p>3. 小中学校で実施している上越「ゆめ」チャレンジ職場体験学習の各店での受け入れ。高田商業高校を中心に上教大・北城中・大町小が連携して店舗経営を行うRikkaへの協力。高田農業高校食品化学科で実施している山カフェへの協力。この活動を通り、次世代の子供達に仕事をする楽しさ、キャリア教育の応援をおこなう。</p> <p>これらの事業を通じ、当商店街の賑わいの創出および売上増進、中心市街地の活性化を図る。 協力体制・・・上越市／上越商工会議所／城下町高田花ロード実行委員会／(株)まちづくり上越／高田本町まちづくり(株)など</p>	<p>逸品創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街自慢の商品をPRする「逸品」パネル展示とマップ作成 ・商店街自慢の商品を展示・試食を行い販売する「逸品」見本市(販売イベント)の開催 <p>高校生ショップ支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップの定期的誘致 ①高田商業高校(チャレンジショップRikka) ②高田農業高校(山カフェ)→昨年は未開催 <p>上記1高によるパンやケーキなどオリジナル商品の販売を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店に関する広告宣伝支援や運営のアドバイス <p>①春フェスタ 3.4.5各町のイベント(働く車、イタリアンフェスティバル、痛車等)他、協賛会社によるミニ四駆等、観桜会時期に併せ開催</p> <p>②七夕まつり 駅前～本町3.4.5丁目の雁木内に七夕飾りを設置し7月の1週目に七夕まつりイベントを実施</p> <p>③高田本町百年老舗通りプロジェクト 本町商店街を百年老舗通りとして絵看板や今昔マップ・チラシにてPR、蓮まつりに合わせてイベントも開催</p> <p>④SAKEまつり 共催としてキッズコーナーイベントを担当</p> <p>⑤花ロード 花にちなんだアート作品を展示 花カフェやオープンガーデンなど、各種イベントを実施</p> <p>⑥レルヒ祭 協賛として本町会場にて各町イベントを開催</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B33	NPO法人くびき振興会	900	C-1-2	地域の連携強化	<p>現在、当団体は市から通園バス運行事業、コミュニティプラザ時間外受付事業を受託している。補助金事業として頸城の祭典、大池まつり、チャレンジスポーツ及びくびき文化祭を行っている。</p> <p>そして、今年度から新たに地域支え合い事業を受託し、区民の生活に密着した活動を行っている。</p> <p>それぞれの事業は一定の成果を上げているものの、若者、壮年者の参加が少なく、活動が区民全体の意向を反映しているかという点では課題がある。地区振興会や子ども会組織などを通して参加を募り各世代間の交流を促進・連携して活力のある活動に繋げていきたい。</p>	<p>○頸城の祭典8/5(日) 中学生徒会、小学PTA、子ども会、小・中学校、保育園、諸団体と連携した行事と出店を開催します。</p> <p>○くびきチャレンジスポーツフェスティバル 9/29(土)～10/8(月) スポーツクラブ、体育協会、町内会と連携したスポーツ行事を開催します。</p> <p>○くびき文化祭11/2(金)～4(日) 文化協会、スポーツクラブ、諸団体、個人と連携した文化行事を開催します。</p> <p>○頸城区敬老会9/9(日) 高齢者を対象としたイベントに、文化協会、スポーツクラブ、保育園と連携した文化行事を開催します。</p>
B34	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	910	C-1-2 C-1-3 C-2-1 C-3-2	地域再生を担う若者の人材育成「里創義塾」	<p>①地域再生について専門的に学ぶ1年生、総寄宿の学校の運営「里創義塾」。</p> <p>②一般を対象とした短期間での座学による集中講義「里創義塾、夏期講習」の開催。</p> <p>③特別講師による地域づくりについての「公開講義」の開催。地域住民や地域づくりに関心のある人の学びの場を目指す。</p>	<p>○地元中学校を対象にしたUターン教育の実施</p> <p>○インターンシップの受入れ(APU)</p>
B35	寺野の自然と暮らしサポートセンター	920	C-1-2 D-1-1	光は寺野から事業	<p>※移住支援事業に取り組んでいます 実施体制「お試し移住ハウス(1泊¥1,000/一人当り)」による移住促進</p>	<p>・地域の活性化</p> <p>a)ランブの里「たなか」で毎月1回地元と移住者の交流会「食の散歩」開催</p> <p>b)「ぶたい」にボルダリング壁面をつくり、地域の祭りにあわせてイベント開催</p> <p>・インバウンド受入れ</p> <p>a)英会話教室</p> <p>b)「のびた」高田雁木通り町屋に中山間地情報拠点を設けた</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B37	株式会社地域創造研究所／株式会社北信越地域資源研究所	940	D-1-1 D-2-1	「時系列人口動態分析システム」の開発他	<p>・上越市は2040年での出産女性の推定減少率は43.3%で消滅都市のリストには入っていない。しかし都市部を除く各区のほとんどが消滅可能都市に入る。各区の特性を生かした計画を作る。</p> <p>・日本創成会議の分析指針は以下の点で分析の視点が欠けている。 ①人口の推計を5歳階級別に行っているがこの方法では5年毎にしか正確な評価が出来ない。②移住者の促進やUIターンのようなゼロサム政策を推進するのは誤っている。③属性を年齢と性別のみで行っているが出生率に大きな影響を与える配偶関係や世帯なども考慮して分析する必要がある。</p> <p>・人口は人口変動の3要素の「出生」「死亡」「移動」のうち「出生」と「移動」をコントロールすることを目途とする。特に出生率の向上がキーポイントになる。出生率の低下は結婚しない若者が増えたことに起因するが結婚に至るプロセスの変化に着目し分析を行う。現在我々が開発中の「時系列人口動態分析システム」によるシミュレーション結果を用いて分析を進める。</p> <p>■事業概要 ・「時系列人口動態分析システム」の開発 ・調査分析を行い、研究会で結果発表。 (これまで静岡県小山町と宮城県亘理郡山元町について分析) ・分析のマニュアル作成および政策的アプローチ</p>	・上越妙高駅西口フルサットにてNTTギガらくwifiにてデータ収集した
B37	株式会社地域創造研究所／株式会社北信越地域資源研究所	950	C-1-2 C-1-3	雪のふるさと/古民家・町家再生リノベーション事業【地方創生推進事業補助金活用】	◇上越市および上越市を含む広域での古民家の活用、上越市高田地区における町家の活用の調査研究、ビジネス化	②事業のフォーラムを年2回実施

団体 ID	団体名	個別事業 ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B38	えちごトキめき鉄道株式会社	955	C-1-1 C-3-1 C-3-2	トキでつサポーターズクラブ	<p>○サポーター会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費を払って入会。 ・会員特典は、会員証、優待乗車証、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用。 <p>○サポート団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対して、クラブ会費から経費の一部を助成する。 <p>○協賛店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。 	<p>○ サポーター会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会費を払って入会。 ・ 会員特典は、会員証、優待乗車証、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用、雪月花乗車代割引等。 ・ポイントカードの導入。駅窓口での定期券、回数券等の購入やサポーターズクラブイベントへの参加などでポイントがたまり、ポイントは景品と交換できる。 <p>○ サポート団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・ サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対して、クラブ会費から経費の一部を助成する。 <p>○ 協賛店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B39	頸城自動車株式会社	960	C-3-1	乗合バス事業	<p>人口急減、超高齢化、車社会の進展、交通体系の変化等を踏まえつつ、まちづくり施策と連携し、地域公共交通の活性化に取り組んでまいります。</p> <p>〈路線再編の取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市総合公共交通計画(平成27年～平成31年の5ヶ年計画)に沿って、これから市内のバス路線の具体的な再編実施計画を検討・策定していく予定です。 ・生活に密着した通学・通院・買い物の足として、また、高齢者の外出を応援するようなバスを目指して取り組んでいきたいと考えています。 ・また、新幹線駅からの市内二次交通の整備も含めて取り組んでいく予定です。 <p>〈利用促進の取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で作成された公共交通時刻表や公共交通利用ガイドの作成・配布への協力 ・高齢者(70歳以上)を対象とした格安フリー定期券の販売 ・小学生を対象とした運賃50円「夏休みバス乗車体験」キャンペーンの実施 ・子育てジョイカード所有者を対象とした割引運賃(1乗車100円)の提供 ・高校生を対象とした区間・便限定の通学100円バスの実施 <p>(高齢者や子どもたちを対象に、気軽に路線バスを利用して外出していただける企画商品を提供し、人の交流を増やして地域の活性化につなげる取り組み。)</p>	<p>下記の事業の取り組みについては、上越市総合公共交通計画に沿って、市と連携して取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上越市バス交通ネットワーク再編計画に基づき再編した路線の維持に努めた。 平成32年度以降の交通計画の策定に向けて、市で実施された路線バスの実態調査等に協力した。 ○公共交通利用促進事業計画に基づく事業の実施 平成29年度と同様に利用促進や各種イベント、公共交通の周知等に取り組んだ。 ・うみがたりオープンに合わせた、直江津駅からのアクセスチラシ作成・配布 ・夏休み小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーンの実施(平成30年7月27日～8月31日) ・秋の小・中・高校生「バス乗車体験」キャンペーンの実施(平成30年9月15日～11月25日の土日祝) ・バスの日フェスタ2018の開催(平成30年9月15日) ・高校生を対象とした通学100円バスのPR。 ・バスの乗り方教室の開催・・・随時(9月バスの日フェスタ、11月高田特別支援学校等)

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B40	北越急行株式会社	970	C-3-1	地域ローカル鉄道としてのほくほく線の利便性向上と魅力作り	<ul style="list-style-type: none"> ・超快速列車を始めとして列車全体のスピードアップを図るとともに、他鉄道との接続を改善し、速達性を向上させる。特に上越新幹線との接続に力を入れ、上越市東部エリアと首都圏とを身近なものに結び付ける。 ・地域のイベントに合わせた臨時列車や団体列車を臨機応変に設定して利用促進を行う。 ・地域の保育園から高校生までの遠足や体験に重点を置き、利用促進だけでなく市民のマイルール意識の醸成に貢献する。 ・マルシェ列車やクリスマストレインなど独自のアイデアでイベント列車を運行し、楽しむ鉄道という面を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ダイヤの速達性を維持し、他鉄道との接続を改善する。 ・雪害等自然災害においても安定して運行できる態勢を強化する。 ・「うみがたり」オープンに合わせて利用促進を図り、鉄道利用による誘客に努める。 ・沿線イベントに合わせた臨時列車を臨機応変に運行して利用促進を図る。 ・マルシェのパン列車やはじめてのおつかい電車など市民のみなさんに楽しんでいただけるイベント列車を拡充する。 ・スノータートル列車など全国の鉄道ファンに喜ばれるイベント列車を運行して誘客に努める。

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B41	しゅしゅクラブ	980	B-1-1 B-2-4 C-3-1	「女性の経験を生かした子育てシステム～子守り電車／子守りバス～」【地方創生推進事業補助金活用】	<p>取組内容</p> <p>①子育て経験者(市内女性)が中心となり、電車やバスを利用した子守りプランを実践し、未来の子供達を地域ぐるみで育てる環境を作る。(親子でも利用可能とする)</p> <p>②月に1回～2回の約2時間程度の子守りを行うことで、保護者の息抜きの時間を作り、子育てに優しい公共交通を目指す。</p> <p>③子供が小さい頃から電車やバスなど公共交通に触れることで、公共マナーやコミュニケーションの学びの場を構築する。</p> <p>④幼児を対象とした商品やサービスを事業としている大手企業の参画で、安心安全で快適なグッズやサービスを作り、他地域と差別化をはかれる二次交通を利用した子育てプランを実現する。</p> <p>⑤家族での二次交通利用や、上記サービス利用でおむつやミルク等の購入ポイントがたまる仕組みを作る。</p> <p>(新しい二次交通を応援する仕組み作りにも繋げる)</p> <p>事業推進者 市内の子育て経験のある女性(50～60代を想定)／在来線事業者／バス事業者／大手子供向け商品、サービス関連事業者／保険会社／人材バンク等を想定。</p>	<p>バスを活用した子供向けの区内巡り(バスのマナーや市内各所の特産品や歴史を学ぶ)→今年度はトキ鉄のイベント列車が使用できないため、二次交通の利用促進の観点から、バスをテーマに事業を行う。</p> <p>上記はバスの日フェスタと連携をはかりたい。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B42	にいがた青年海外協力隊を育てる会	990	A-3-2	グローバルとローカルの両視点を持つ人材紹介事業	<p>○青年海外協力隊のJICAボランティア事業に対する地域理解と支援輪の拡大 実施例:上越地区の首長に新隊員の表敬訪問</p> <p>○青年海外協力隊等のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援 実施例:青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会</p> <p>○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成 例:地域の団体・学校などに出前講座の開催。地域のイベントに参加。 実施例:上越教育大学付属小学校においてネパール地震における出前講座。 ナマステ募金(賛同企業・店等150店)と共同で行っている。</p> <p>○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ社会に紹介する。 例:隊員OBによる出前講座及び報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例:募集説明会におけるOB隊員の帰国報告会。</p>	<p>○青年海外協力隊のJICA事業に対する地域理解と支援の輪の拡大。 実施例:新青年海外協力隊員・シニアボランティア出発及び帰国青年海外協力隊・シニアボランティア隊員の上越市市長へ表敬訪問の実施</p> <p>○青年海外協力隊のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援。 実施例:青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会。</p> <p>○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成。 例:地域の団体・学校などに出前講座の開催。地域のイベントに参会。 実施例:くびきの市民フェスタ・上越市民プラザにぎわいまつり等に参加。</p> <p>○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ人材として社会に紹介する。 例:協力隊員OBによる報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例:上越国際交流協会(JOIN)・新井ロータリークラブへ講師派遣。募集説明会にてOBの帰国報告会実施。</p>
B44	NPO法人 高田警女の文化を保存・発信する会	新規	—	「警女ミュージアム高田」運営事業	—	<p>○平成30年6月10日高田警女ゆかりの地を巡る日帰りバスツアーを実施予定(上越市と共催)定員50名</p> <p>○「警女ミュージアム高田」の運営 春・夏・秋の企画展(水曜日休館)それ以外は土日開館</p> <p>○平成31年2月10日高田警女の門付け再現と警女唄演奏会</p> <p>八十二銀行文化財団とJTBヴェネフィットとは提携継続中</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B45	協同組合くびき野地理空間情報センター	新規	—	オープンデータについて研修事業	—	○上越市で公開された公共データの一部のオープンデータについて、利活用に関する環境整備。 ○上越市の行政および地域イベント等の総合情報サイトをwebGISを活用し、地図情報も合わせて構築していきたい。そのための素案作り。
B47	一般社団法人 上越をわくわく楽しみ隊	新規	—	コミュニティガーデン整備活動事業	—	○着物文化で上越を活性化させる。 ・花魁道中 ・アート着物着付け教室 ・花柳流 所作&ウォーキング教室 ・アート着物伝承教室 ・SAKE祭りにて花魁道中プロジェクト、アート着物体験、アート着物ファッションショーを実施 ・雁木通りまつり 音楽・仮装大会にて花魁道中を実施 ・滝寺不動尊のPR活動
B49	南本町三丁目町づくり協議会	新規	—	景観まちづくり事業	—	地域景観に合わせた色彩ガイドラインの策定、改修ワークショップ、空き家の活用構築、雁木の活用情報誌の発行など地域のイベントなどと連携して、まちづくりに若者呼び込む活動を推進する。 1/2補助金では財政的に当会は無理があり、商店の後継者育成などの課題がある。活動者の育成に重点をおいて取組を進めている。
B50	NPO法人「くびきのお宝のこす会」	新規	—	くびきのお宝公開事業	—	1 くびき野レールパーク定期公開 ①5月5日(土) ②6月17日(日) ③7月15日(日) ④9月16日(日) ⑤10月13日(土)・14日(日) 2 瀧本邸一般公開(年2回実施) ①5月20日(日) ②11月18日(日) 3 くびき野レールパークについては、他に団体等の申込によって、随時公開を実施

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B52	お馬出しプロジェクト	新規	—	雁木のまち高田のおもてなし【地方創生推進事業補助金活用】	—	(1)お馬出し塾 第41回「中村実作らと御預人 林義亮」 第42回「日本の魅力・高田の魅力」 第43回「雪国に夢を運ぶ雪室プロジェクト」 (2)お馬出しの歴史発信事業 ・お馬出し一座「城下町高田はお江戸でござる」の公演 ・お馬出し界隈の歴史散策ツアー (3)高田祇園に関連するイベント ・「御神輿宮入・お旅所納涼会」 ・「高田祇園 お旅所まつり」 (4)まち中回遊イベント「城下町高田・本町ひなめぐり」 (5)えちごトキめきリゾート「雪月花」冬のおもてなし
B53	JR東日本鉄道OB会直江津支部	新規	—	鉄道交流事業	—	* 6月 無人駅清掃奉仕活動 * 8月 SL清掃保存活動 * 時期未定 直江津～長野間開通130周年記念イベント * 10月 なおえつ鉄道まつり * 通年:「新潟県鉄道発祥の地直江津」記念モニュメント建立活動
B54	越後高田雁木ねっとわーく	新規	—	～雁木の世界遺産登録をめざして～フォーラム事業【地方創生推進事業補助金活用】	—	・風鈴街道in雁木の事業で3月に雁木の風景の写真コンテストと雁木に関する意見交換を実施 ・佐渡の世界遺産を応援する会の立ち上げを予定
B55	まちづくり市民大学OB会	新規	—	空き家の利活用フォーラム【地方創生推進事業補助金活用】	—	空き家の利活用に関して2018年11月に市議会の移住促進委員会と意見交換を実施。 空き家利活用ネットワーク会議のHP作成予定

団体ID	団体名	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の実施内容
B56	雪室推進プロジェクト	新規	—	雪室推進事業	—	<p>○「雪室サマーフェスタin上越妙高駅」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月18日～19日 ・会場:上越妙高駅西口広場・フルサット ・来場者:2日間延べ8,800人(18日 4,200人、19日4,600人) ・夏の雪を楽しもうとするお子様連れで賑わい、多くの県外ナンバー車が見受けられたことから、帰省中の県外居住者に向けた訴求が行なわれたものと感じている。駅前に雪があることにより、多くの人イベント会場に足を運ぶきっかけになり、雪の魅力・価値を知ってもらえる良い機会となった。 <p>○雪室グルメフェア開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催(8月、2月) ・市内の飲食店、洋菓子店、ベーカリーなどから参画していただき、雪室食材を使った特製メニューを提供。2月の開催では新規店舗が加わり43店舗で実施。 ・上越の新名物「雪むろ酒かすラーメン」が加わったことにより、情報発信力が向上した。また上越での「雪室食材」に対する認知度の向上と盛り上がりを感じられた。 ・地元メディアから協力していただき、じわじわと地域に浸透する活動になってきたと感じている。
B58	公益社団法人上越青年会議所	新規			—	<ol style="list-style-type: none"> ①クリーンナップ上越春・夏の開催 ②空家のリノベーション活用事業 ③雁木通りミュージックフェスの開催 ④地区フォーラムin上越の開催 ⑤ウォーキング事業の開催
B59	NPO法人日本防災用品技術研究協会	新規		防災に関する製品の開発及び啓発啓蒙活動	—	<ul style="list-style-type: none"> ○長岡市中越地震きおく未来に1ヵ月展示。 ○30年度上越市総合防災訓練に参加(台風の為に中止) ○上越市社会福祉事務所にて体験活動を実施。 ○防災士会へのPR ○春色(秋色)縁日・浄光寺de縁日のフリーマーケットで展示説明会実施。 ○ニイガタIDSデザインコンペティションに参加 ○糸魚川駅北大火・復興糸魚川ビジネスプランコンテストに参加 (審査委員長 特別賞受賞)

団体ID	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成30年度の取組内容	
B29	870	高田まちなかの「潤いとやすらぎのまちづくりプロジェクト」(新5か年計画)			<p>・高田駅中心市街地に、人々が集まる賑やかなまちづくり事業(四つの事業)の展開。</p> <p>・このプロジェクトは、第一次計画(H14～26年実施)の実績と評価を生かし、引き続きH28～32年の5か年を新計画として推進していく。</p> <p>・新計画は、高田駅周辺の「寺町、暮らし・福祉エリア」・「本町、商業業務エリア」・「仲町、食文化・商業エリア」・「駅周辺の発達障害研究・研修エリア」、四つの事業拠点に新たな業務機能を導入し、みんなで連携しあうまちづくりを推進する。</p> <p>・新計画は、第一次計画の成果である、居住人口の回復(流失世代の回帰)・雇用人口の増加(新・起業化によるしごとづくり)・交流人口の拡大(来街者)を最重要課題としている。駅まちなかに人々が集まり・働き・暮らし・買い物客等で賑わうための起業化を一層進め、まちなかの活性化に取り組む。</p> <p>・事業化に要する体制・人材・事業用地は、相当部分を確保している。今後グループの各事業者(企業)がエリア別の実施計画を作成のうえ、事業着手に取り組む。なお事業化は、町内会・事業者・地域・大学・病院・行政等の多様な人々と連携を推進する。</p> <p>・新計画の「四つの事業拠点」は、以下の通り。</p> <p>1 暮らし、福祉エリア</p> <p>・子供から高齢者の安心なライフステージを整備し、首都圏高齢者等の移住促進・地域の子育て・介護等の総合サービスを提供する。</p> <p>・高齢者の移住について、国立上越教育大学・県立看護大学の支援と地域コミュニティとの連携を進めていく。</p> <p>・高齢者住宅、子育て住宅、総合こども園、診療所、就労支援センター等の整備</p> <p>2 商業業務エリア</p> <p>・新耐震オフィスビルの活用と進学塾の発達障害児教育・首都圏親子の体験滞在型教育・ワークライフバランス等の活力あるまちづくりを進める。</p> <p>3 食文化・商業エリア</p> <p>・100年食文化・歴史のまち並み資源を活用し、商業・観光・しごとづくりが集積する、交流と賑わいのまちづくりを推進する。</p> <p>・100年を超える老舗料亭ネットワークづくり・大型パスターミナル・マルシェなど起業化ゾーン・シンボルロードの景観ゾーンの整備</p> <p>4 高田駅周辺企業向け軽度発達障害研究・研修エリア</p> <p>・地域の自然・教育・文化の優れた環境を生かした研究・研修センターを整備し、企業経営活動の安定化と障害社員の健康と就労改善に貢献するモデル都市づくり</p>	<p>■日本芸能体験事業「姫さまあそび」</p> <p>○実施日:10月20日(土)10:00～16:30</p> <p>○来場者:78名(二胡演奏会、日本舞踊鑑賞会)</p> <p>○内容</p> <p>・日本の伝統芸能の奥深さに触れ、親しむことができる場所として「百年料亭 宇喜世」を認知してもらう機会として、来場者参加型イベントを開催した。</p> <p>・来場者からは、時代着物を着用し、時代化粧を施してもらうことで当時の雰囲気を楽しんでいた。</p> <p>・きもの小川・小川奈々氏より伝統弦楽器「二胡」についての説明を受け、独特な音色で楽曲を奏でてもらい来場者に堪能いただいた。</p> <p>・日本舞踊 松風流宗家 家元二代目による日本舞踊講座に続き、日本舞踊2演目を披露いただいた。来場者からは芸妓の踊りや能の舞とは一味違った、家元の男性による日本舞踊を楽しんでいただくことができた。</p> <p>・本館1階「松の間」では9店舗出店による和小物のワークショップを開催し、来場者同士及び来場者と出店者との間で交流・親睦を深めることができた。</p> <p>・宇喜世でのイベント終了後、来場者約30人が同日開催の「越後・謙信SAKEまつり(高田本町通り)」に出向き、まち歩きを楽しんだ。</p> <p>■芸妓文化周知・継承事業「赤坂芸妓の艶姿」</p> <p>○実施日:11月11日(日)</p> <p>○来場者:52名</p> <p>○内容</p> <p>・東京赤坂組合、東京浅草組合から関係者を招聘し、市民などから芸妓文化の奥深さに触れていただく機会とした。</p> <p>・赤坂組合・育子氏によるトークショーでは、芸妓になった経緯や赤坂芸妓の現状についてお話いただき、今後も継承していかなくてはならない文化だが、困難な現状であるとの説明を受けた。</p> <p>・また、芸者を志望する女性はいるものの、面談をする中では長く続けられそうな見込みがある人、本格的に育てようと思える人が少ないという現状も紹介いただき、継承・育成は簡単ではないが、そうであっても芸妓文化を全力で守っていきたいとお話をいただいた。</p> <p>・続いて赤坂芸妓(立方4名・地方1名)より7演目を披露していただき、華やかな赤坂舞踊を堪能していただいた。立方は4人も芸妓で、熟練芸の披露で、艶やかさが感じられた。</p> <p>・東京浅草組合より参加の幫間(ほうかん)(たいこ持ち・男芸者)・櫻川七好氏の振る舞いにより舞台と客席との間に一体感が生まれ、自らも4演目の男芸を披露いただいた。</p> <p>・終演時には、芸妓・幫間共に舞台を降り、観客のもと追加で1演目を披露し、全員に感動を与えた。</p>
		A-1-1 A-2-1	870-01	100年食文化と歴史のまち並み・観光創出事業		
		C-1-1	870-09	高田駅・歴史まち並みにつながる福祉・商業・教育エリアまちづくり事業		
		C-3-2	870-12	全国100年老舗料亭の和食文化伝承の連携ネットワーク事業		
		C-2-2	870-13	福祉・食文化・教育・商業エリアで結ぶまちづくり支援事業		
		A-1-2	870-02	まちなかの介護・医療・住い・子育て・働き場・移住の総合サービス事業		
		B-2-2 B-2-3	870-07	総合こども園・子育て住宅等環境整備事業		
		C-1-3	870-10	まちなかの空家・空店舗等の活用調査事業		
		D-1-1	870-14	駅まちなかの居住・介護・医療・就労と農村資源活用型移住促進事業		
		D-1-1	870-15	駅まちなかの移住・障害者福祉・観光体験交流によるネットワーク事業		
A-3-3	870-04	企業向け軽度発達障害教育事業				
A-3-3	870-05	企業向け軽度発達障害者教育と就業・経営安定化促進事業				

	B-1-1	870-06	福祉・教育・発達障害事業所の仕事・生活の調和と人づくり事業	<p>■和楽器鑑賞・上越地酒周知事業「日本伝統音楽三曲・地酒を楽しむ会」</p> <p>○実施日:2月26日(火)</p> <p>○来場者:66名</p> <p>○内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統和楽器「箏曲(琴)」「尺八」「三味線」演奏会を実施し、来場者から和の音色を楽しんでいただいた。 ・津軽三味線の第一人者、2代目高橋竹山氏(糸魚川在住)の演奏は来場者を魅了し感動を与え、貴重な体験をしていただくことができました。また、弟子入りや2代目襲名時のエピソードなど、貴重なお話も聞くことができました。 ・上越地区で製造されている日本酒15蔵の代表銘柄の特徴などを専門家に解説してもらい、上越地区の日本酒の奥深さを知っていただいた。 ・来場者ほぼ全員による利き酒コンテストを実施。4銘柄を当てる企画とし、2銘柄以上を正解した来場者に景品を進呈した。
	C-2-1	870-11	福祉・教育の首都圏交流体験等促進事業	
	A-3-2	870-03	若者能力開発・高校生就業体験・起業化支援促進事業	
	C-1-1	870-08	商業ビル活用と首都圏交流等塾教育サービスの多角化事業	

団体ID	個別事業ID	体系番号	個別事業名	事業の概要 (戦略策定時の内容)	平成30年度 of 取組内容	
B43	1000	A-1-1 A-1-2 A-1-3 A-1-4 A-2-1 A-2-2 A-3-2 C-1-1 C-1-2 C-2-1 C-2-2 D-1-1	上越地域と首都圏を「つなぐ」プロジェクト	<p>上越タイムス社は3年前から、人口減少とそれに伴う活力の減退を少しでも防ぐ一助になればと、「上越タイムス」紙面上に首都圏面を設け、報道機関強みである情報の受発信を生かし、首都圏とのつながりを強めてきました。</p> <p>3年間の「つなぐ」活動で①ふるさと上越の人口減少は急速に進んでいる②首都圏在住の上越出身者が非常に多い③出身者のふるさと貢献意識が高い、という事実を確認しました。北陸新幹線・上越妙高駅の開業を機にこうした人々と交流を進めるには、①上越からの情報発信②首都圏側からふるさと上越に向けた情報の受信③首都圏の出身者同士をつなぐ情報提供、が必要と思われます。あらためて、上越には、首都圏に「つながりたい」と思わせる魅力がある、首都圏には、上越と「つながりたい」と考える”上越人”がいる。このことから、当社の持つ情報を生かし、行政、団体、他企業と協力して地域活性化をすすめていきたい考えです。</p> <p>当社ですでに進めている「つなぐ」プロジェクトは、日刊紙面の首都圏版編集、首都圏向け「月刊紙」の発行をはじめ18事業、今後の実施をめざす「つなぐ」プロジェクトは19事業を整理しています。</p>	実施中	①上越タイムス紙の首都圏版編集 毎日掲載の首都圏版(ページ)は終了し、定期掲載と随時掲載に切り替え。
②「月刊上越」の発行 平成30年4月号より、従来の1ページ7段の24ページ編集を上越タイムス本紙と同じ11段組み20ページ編集に変更。特殊増ページの余地を設ける。						
③上越3市の出身者組織との連携 継続中。						
④上越地域の高校同窓会の首都圏組織との連携 継続中。						
⑤ふるさと支援の市民活動団体やNPO法人との連携 上越市出身者の個別郷人会がふるさと上越での交流会や同級会を企画するケースが増えており、取材し紹介することで推進を後押ししたい。						
⑥東京新潟県人会との連携 着実に連携を進展。毎回900人規模の納涼会、新年会で見本紙などを無料配布している。						
⑦東京えちご祭りの上越出身実行委員との連携 連絡が取れないので中止。						
⑧フェイスブック新潟県人会との連携 新しい展開中なので、見守っているところ。(関心をもって)						
⑨ネオ東京県人会との連携 若者たちの活動や情報交換に注目している。組織化は難しいよう。						
⑩3市の空き家情報の提供 月間上越の3市の空き家情報は反響があり、実績もあるので、拡充したい。						
⑪掲載情報によるビジネスや取り引きの結び目づくり 首都圏版で紹介した若者がUターンし活躍しており、活躍ぶりを紹介している。						

	⑫首都圏の上越ゆかりの店紹介	適宜紹介できている。
	⑬物産の販促つなぎ交流推進	通販カタログ「雪の恩返し」(H30～H31夏バージョン)3万部を印刷
	⑭3市出身のタレントや芸能人、スポーツ選手らの応援	適宜紹介できている。
	⑮小中学生による修学旅行の郷土アピール活動や物産販売活動サポート	適宜サポートしている。
	⑯講演、フォーラム講師の斡旋、仲介	紹介講師が時折ふるさと講演を果たしている。
	⑰北陸新幹線の開業を機にした里帰りプロジェクトの支援	東京浦川原会の里帰り交流会は定着したので、毎回様子を紹介している。
	⑱Iターン、Uターン、Jターンの支援	実績者を紹介している。
今後実施	①首都圏に進学、就職した卒業高校生に「月刊上越」と広報紙を成人まで配布する事業	海洋高校に毎号300部を無料提供している。他校拡大はとりやめ。
	②上越教育大と県立看護大の卒業生との連携	積極的に関わっていない。
	③ふるさと産品の通販事業の展開	タイムスの果たす役割を終了し、Jネットが拡充する通販事業を応援することに計画変更。
	④上越市の有楽町常設マルシェの運営支援	JCUが有楽町マルシェをサポートしているので対応を支援している。

					⑤交流イベントの企画、運営、主催	独自の交流イベントは企画中止。
					⑥首都圏と上越を結ぶ文化賞の創設	タイムス広告会で家族写真を募集したら全国から殺到。
					⑦3市のふるさと納税の紹介とPR	積極的に対応していない。
					⑧ふるさとにエールを送る便りや投稿の奨励	適宜掲載。
					⑨出身者がガイドを務める首都圏ツアーの企画	東京吉川会の東京バスツアーに参加した。
					⑩ゆかりの施設や会社、工場めぐり企画	柿崎まちづくり振興会のライオン社訪問を紹介した。
					⑪ふるさとツアーの企画	首都圏のほか、のこの県内の11媒体合計28万5527部の地域紙に「新水族館を核にした直江津活性化プロジェクト」をプロモーションしたい。 ↓ 拡大プロモーションは実施できず、直江津は特化の回遊促進企画を展開した。
					⑫商工団体とタイアップした上越・東京経済懇談会の企画・主催	
					⑬婚活イベント企画	
					⑭就活イベント企画	首都圏並びに地方向けの就活＝企業紹介の企画を推進したい。
					⑮出身者の若者懇談会	フェイスブック東京新潟県人会の動向に注目している。
					⑯ちりつもプロジェクトの支援	
					⑰前島密顕彰の年賀状コンテストの実施	役割の返上。
					⑱前島密ゆかりの横須賀市との交流促進	地元と横須賀の顕彰団体と交流を保っている。
					⑲郵政博物館との連携	人的交流を行っている。